

Microsoft Azure ご紹介資料

2024年11月

SB C&S株式会社

Azure相談センター

 SB C&S

本資料の内容は2024年10月時点の情報に準拠しているため、
今後変更になる場合がございますことをあらかじめご了承ください。

本資料に記載の価格は、2024年10月のMicrosoft社の一般公開価格となり、すべて税抜きです。

- ※ Azure プランを通じて購入した Azure サービスの価格は米国ドル (USD) で計算され、お支払いの際に日本円に換算されます。
毎月、使用する為替レートが変動し、前月末のレートが使用されます。

パートナー センターでの請求の概要 - Partner Center | Microsoft Learn - パートナーの所在地の通貨での請求書
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/partner-center/billing-basics#invoice-in-partner-location-currency>

Azure の料金概要 | Microsoft - Azure の価格と請求に関する FAQ
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/#FAQ>

1. Microsoft Azureの概要
2. Azure利用例
3. Azure利用料の仕組み
4. Azure Reserved VM Instances (Azure RI)
5. Azureハイブリッド特典 (AHUB)
6. Software Subscription
7. Azureライセンス
8. CSPのFAQ・注意点
9. ライセンス販売支援制度

1. Microsoft Azureの概要

“Microsoft Azure” とは？

マイクロソフトが提供する
パブリック クラウド サービスのプラットフォーム

Azure = 青空
(雲=クラウドを浮かべている)

2008年10月28日

「Project Red Dog」というコード名で呼ばれる社内プロジェクトを発表

2010年

「Windows Azure」として商用利用可能に

2014年

日本データセンター開設、東日本と西日本の2拠点で2月26日より稼働開始
名称を「Microsoft Azure」に変更

⋮

現在

Software as a Service (SaaS)、Platform as a Service (PaaS)、Infrastructure as a Service (IaaS) など
さまざまなテクノロジーサービスの組み合わせを提供

History of Microsoft Azure <https://techcommunity.microsoft.com/t5/educator-developer-blog/the-history-of-microsoft-azure/ba-p/3574204>

Microsoft Azure の歴史 | Japan Azure IaaS Core Support Blog https://ipaztech.github.io/blog/other/azure_history_and_career_in_support/

クラウドビジネス強化、日本データセンター開設 - News Center Japan <https://news.microsoft.com/ja-jp/2014/02/25/2014-20/>

“クラウド”とは？

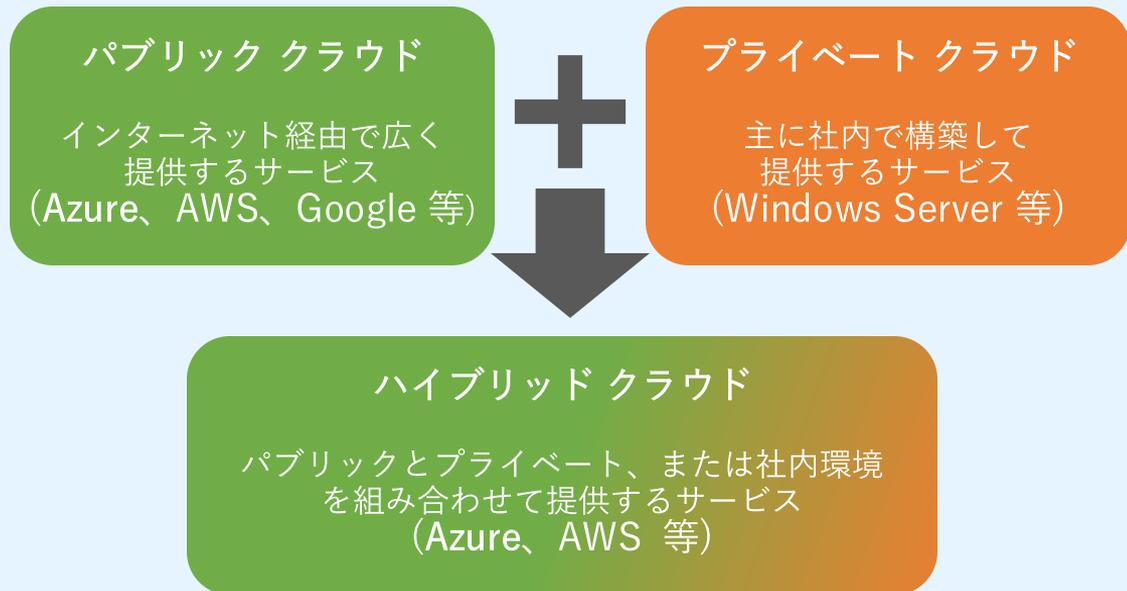
クラウド サービスを提供するためのプラットフォームです。

“クラウドサービス”とは、インターネットなどのネットワークを経由して、サーバーやデータベース、ソフトウェアなどの様々なコンピュータ リソースをサービスとして配信することです。

クラウド サービス

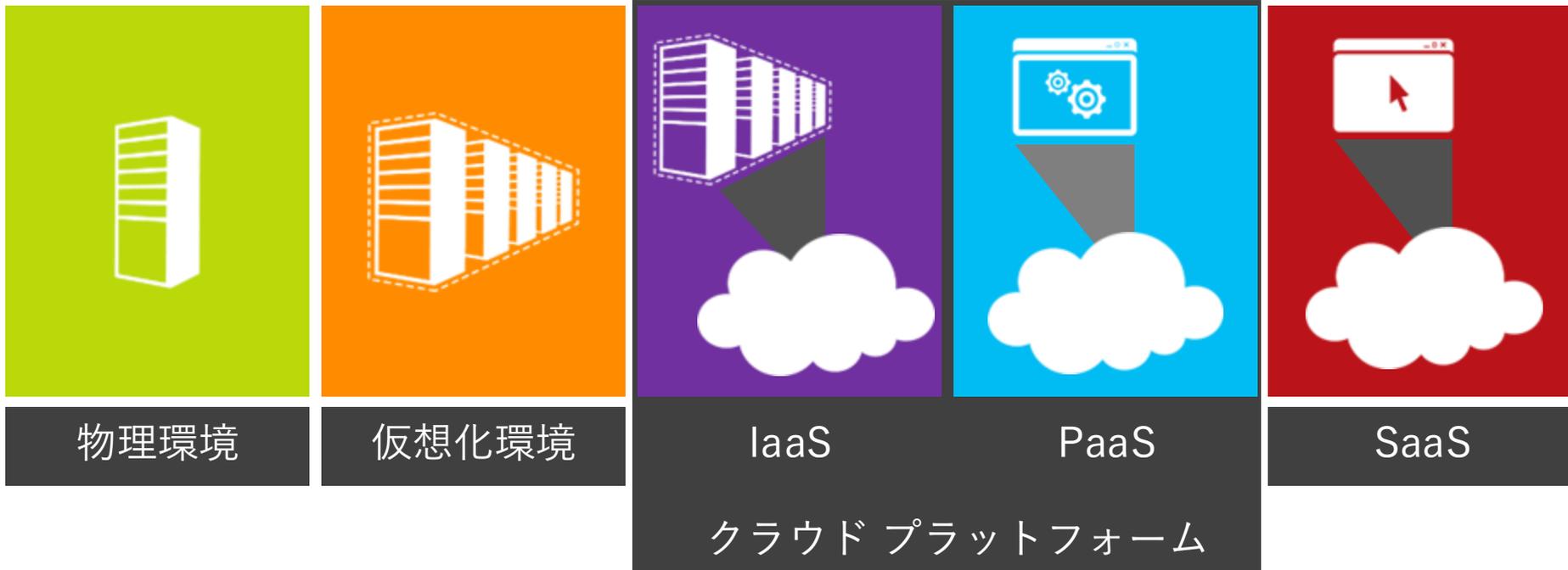
- ✓ 使いたいときにすぐ使える
- ✓ 広範囲なネットワークアクセス
- ✓ 共有リソースの最適配分
- ✓ 需要の変化に柔軟に対応
- ✓ 使った分だけ支払う(従量課金)

クラウド サービスの種類



Azureが提供するクラウドの種類は？

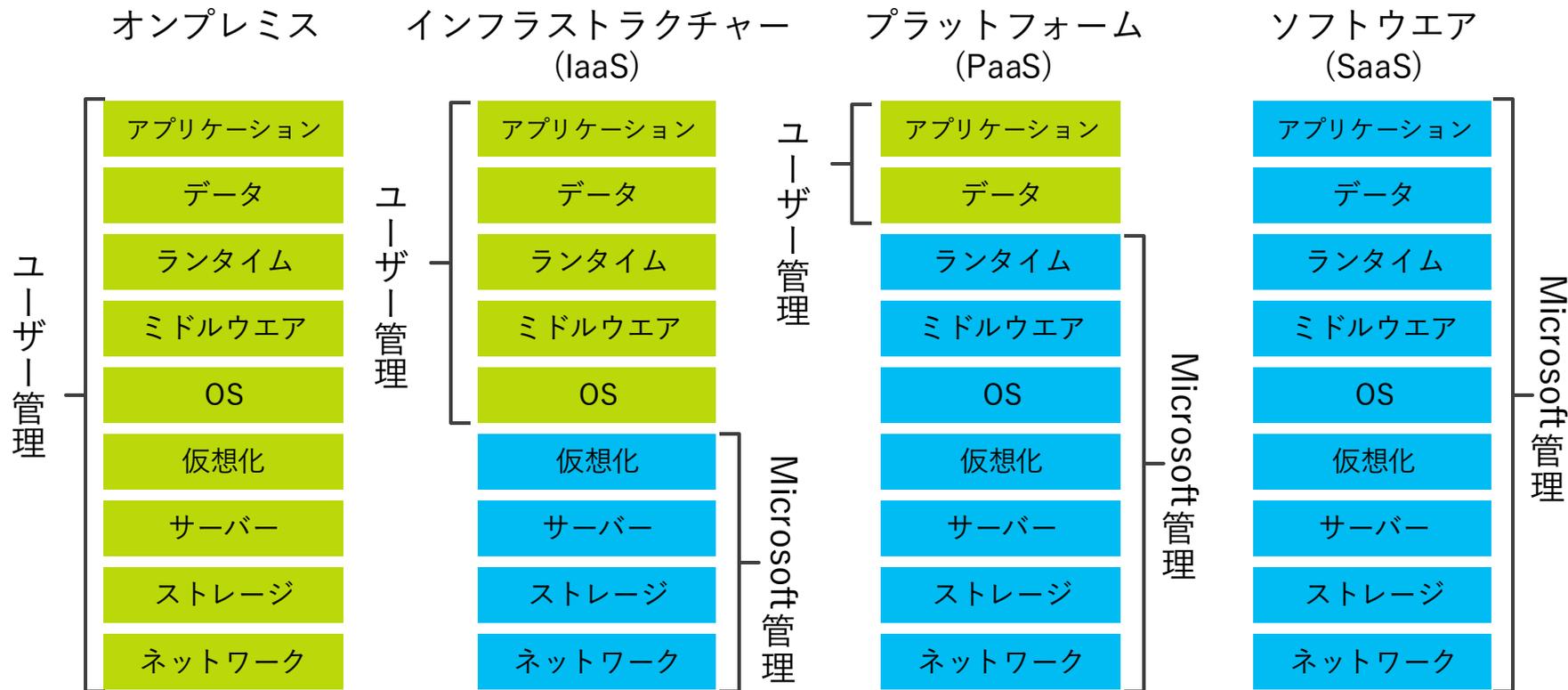
SB C&S



 Microsoft Azure

IaaS(イアース)、PaaS(パース) って何？

SB C&S



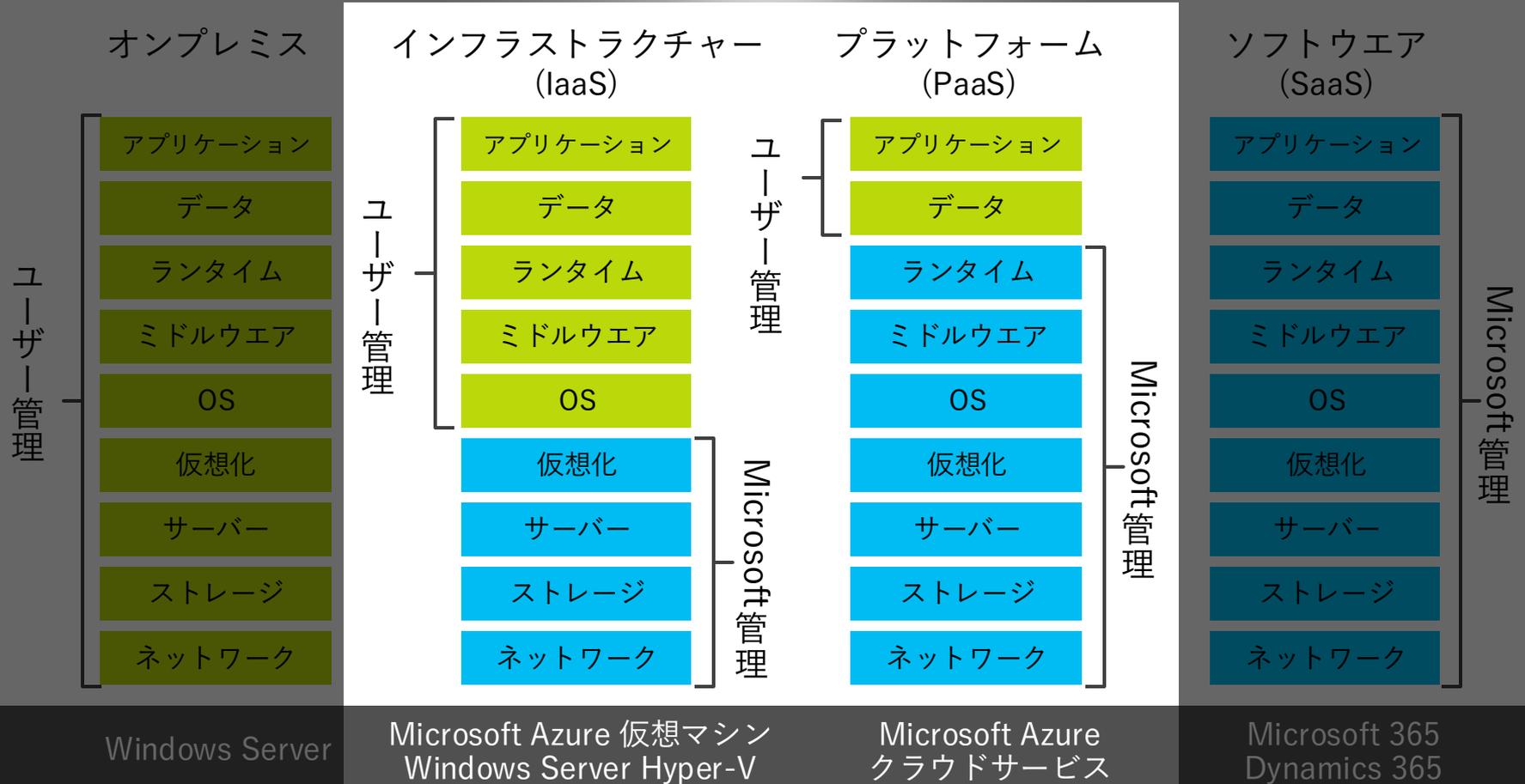
Windows Server

Microsoft Azure 仮想マシン
Windows Server Hyper-V

Microsoft Azure
クラウドサービス

Microsoft 365
Dynamics 365

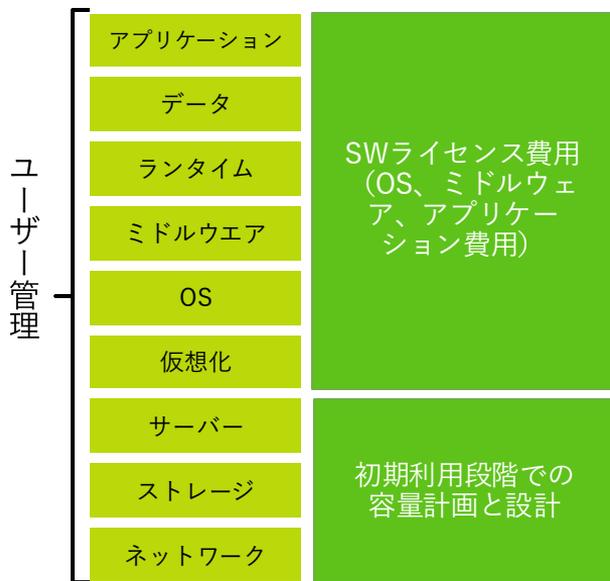
Azureが提供するクラウドの種類は？



オンプレミスとAzureの違いは？



オンプレミス



HW購入費が発生！(初期投資大)

SW/HW保守・運用費用が発生！

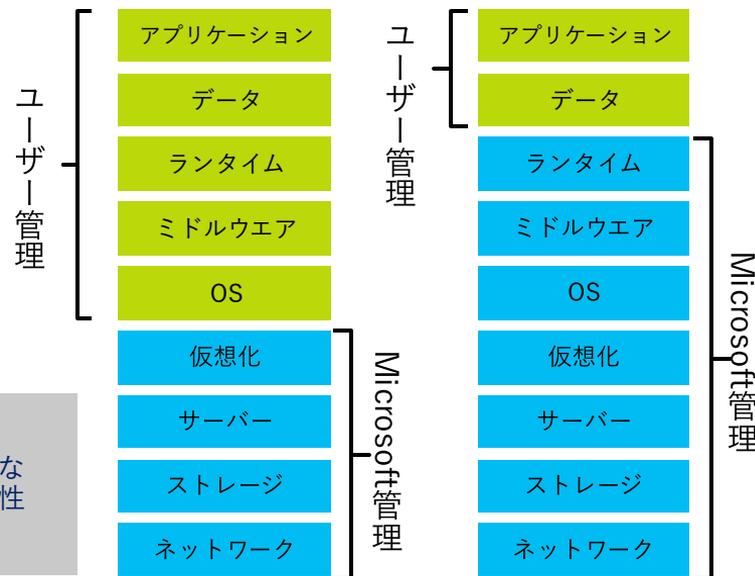
インフラストラクチャー (IaaS)



HWも利用料に含まれる！(初期投資低、ランニングコスト発生)

HW運用費用 (SLA[稼働品質保証]: 99.9%) も利用料に含まれる！

プラットフォーム (PaaS)



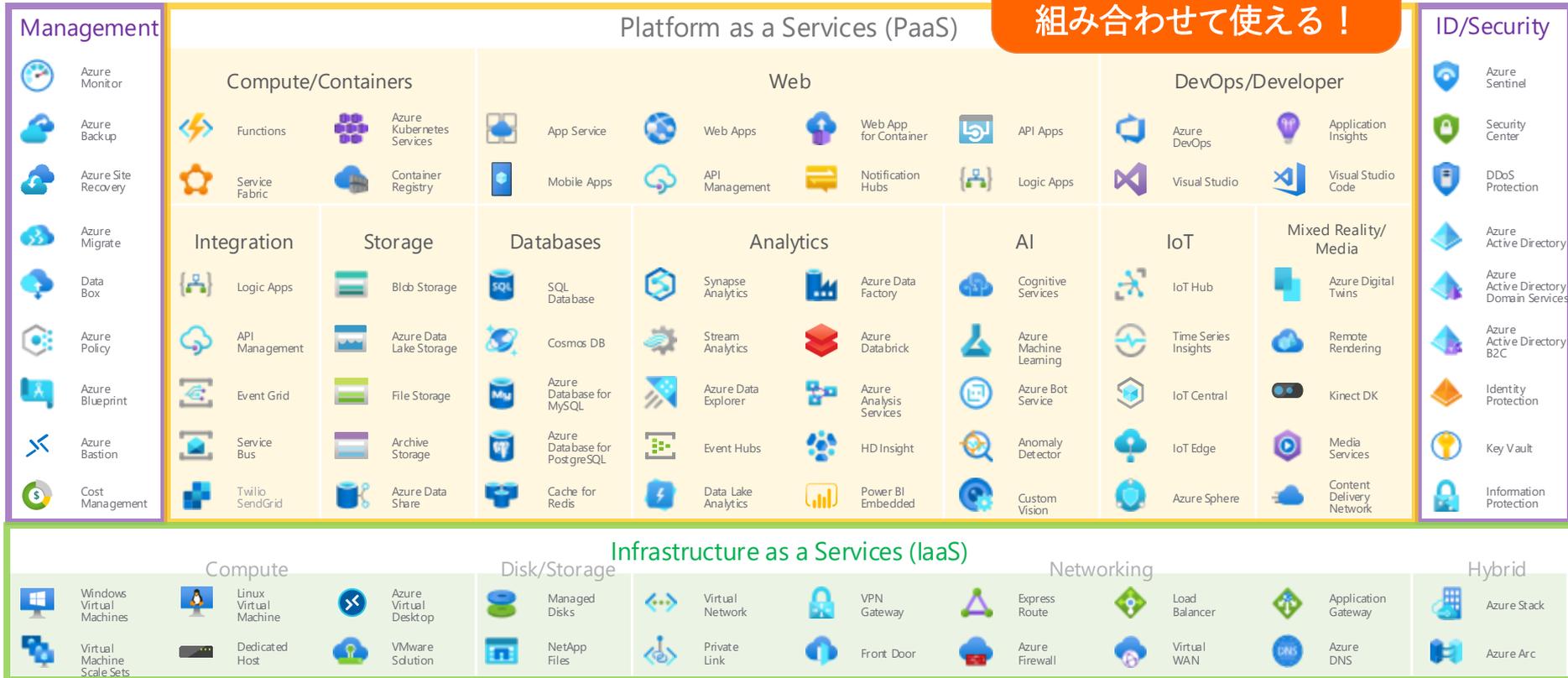
Azureで利用可能なサービス全体像

SB C&S

Microsoft Azure のすべてのサービス一覧 <https://azure.microsoft.com/ja-jp/services/>

～ 300 以上の製品/サービスを提供 ～

必要なサービスを
組み合わせて使える！



Microsoft Azure Datacenter Infrastructure

世界最大のインフラストラクチャー

SB C&S

～世界中に 60 以上のリージョンを備え、140 の国/地域で利用可能～



最新情報: <https://azure.microsoft.com>

世界規模のクラウド基盤

サーバー/ネットワーク/データセンター

- 高度な自動化
- 柔軟性
- 統合リソース管理
- 従量課金

データセンター選択のポイント

一部のサービスが異なる	データセンターによっては未提供のサービスもある <ul style="list-style-type: none">• いくつかのリージョンで提供され、順次ロールアウトというサービスが多い• 東日本・西日本でも多少の違いがある
価格が異なる	日本エリアは米国より高め <ul style="list-style-type: none">• 仮想マシン Standard D2 v3 - Windows (2023年2月価格) 米国西部：27.165 円/時間 東日本：21.714 円/時間• 仮想マシン Standard B2Ms - Windows (2023年2月価格) 東日本：15.207 円/時間 西日本：16.637 円/時間 東日本と西日本でも多少の違いがある
レイテンシー（遅延）が異なる	日本エリアは遅延が小さく早い 距離が離れているほどレイテンシーが大きくなっていく
管轄裁判所が異なる	日本エリアは日本の法律に基づき、日本の裁判所が管轄 海外は海外の法・裁判所

Check!

セキュリティ/コンプライアンスの取り組み (1/3) SB C&S

物理データセンターからAzureでの運用まで、
最新鋭の多層構造のセキュリティをお客様に提供！

データ

アクセス制御、モニタリング、ファイル/データの一貫性管理

ユーザー

アクセス管理、アカウント管理、トレーニングと認知度向上

アプリケーション

セキュアな開発ライフサイクル、アクセス管理、モニタリング

サーバー

アクセス制御、モニタリング、マルウェア対策、パッチ管理

内部ネットワーク

認証の二重化、侵入検知、脆弱性監査

ネットワーク周辺機器

エッジ監視、フォワーディング管理、侵入検知、脆弱性監査

施設

バイオメトリクス認証、VTR監視、物理アクセス管理

セキュリティ/コンプライアンスの取り組み (2/3)

SB C&S

パブリッククラウドで最多のコンプライアンスに準拠

グローバル



ISO 27001



ISO 27018



ISO 27017



ISO 22301



SOC 1 Type 2



SOC 2 Type 2



SOC 3



CSA STAR Self-Assessment



CSA STAR Certification



CSA STAR Attestation

米国政府



Moderate JAB P-ATO



High JAB P-ATO



DoD DISA SRG Level 2



DoD DISA SRG Level 4



DoD DISA SRG Level 5



SP 800-171



FIPS 140-2



Section 508 VPAT



ITAR



CJIS



IRS 1075

業界



CDSA



PCI DSS Level 1



MPAA



FACT UK



Shared Assessments



FISC Japan



HIPAA / HITECH Act



HITRUST



GxP 21 CFR Part 11



MARS-E



IG Toolkit UK



FERPA



GLBA



FFIEC

地域



Argentina PDPA



EU Model Clauses



UK G-Cloud



China DJC P



China GB 18309



China TRUCS



Singapore MTCS



Australia IRAP/CC SL



New Zealand GCIO



Japan My Number Act



ENISA IAF



Japan CS Mark Gold



Spain ENS



Spain DPA



India MeitY



Canada Privacy Laws



Privacy Shield



Germany IT Grundschutz workbook

ご心配ならお客様にこちらの情報提示を！

Microsoft Azure は以下の厳しい規格も取得

- ✓ 世界標準の情報セキュリティ管理規格である「ISO/IEC 27001」認証
- ✓ 個人情報の取り扱いについて規定している「ISO/IEC 27018」世界初取得
- ✓ 国際的な情報セキュリティ標準「ISO/IEC 27017」を満たした「クラウドセキュリティ ゴールドマーク」を日本企業初取得
- ✓ **PCI DSS** (クレジットカード情報セキュリティ基準)
- ✓ 日本の金融機関向けである**FISC v9 安全対策基準**の要件を満たしている
- ✓ **SSAE 16/ISAE 3401** 認証 など

最良のクラウド データ整合性 | Microsoft トラスト センター

<https://www.microsoft.com/ja-jp/trustcenter>

金融情報システムセンター (FISC) - Microsoft Compliance | Microsoft Learn

<https://www.microsoft.com/ja-jp/trustcenter/compliance/fisc>

アナリストレポート、電子書籍、ホワイトペーパー | Microsoft Azure

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/resources/research>

ホワイトペーパー - Microsoft Azure のセキュリティ

<https://download.microsoft.com/download/3/D/8/3D8D9E96-A07B-4BB0-A06F-78916BCC773D/MicrosoftAzure-SecurityPrivacyCompliance.pdf>

Azure仮想マシンは他ベンダー製品もサポート

マイクロソフト サーバー製品はもちろん、他ベンダー製品も実行可能

Microsoft®
SQL Server®

Microsoft製品

ORACLE®

Oracle Database virtual machine images
Oracle Linux

RedHat
SUSE SLES /Open SUSE
Ubuntu
CentOS by OpenLogic
(Linux)

SAP HANA

※ライセンスプログラムによって選択できる種類が異なります

Microsoft Azure Virtual Machines に対する Microsoft サーバー ソフトウェアのサポート - Virtual Machines | Microsoft Learn

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/troubleshoot/azure/virtual-machines/windows/server-software-support>

Oracle ワークロードのクラウド移行 | Microsoft Azure

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/solutions/oracle/>

Azure で動作保証済みの Linux ディストリビューション - Azure Virtual Machines | Microsoft Learn

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/virtual-machines/linux/endorsed-distros>

Red Hat on Azure | Microsoft Azure

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/solutions/linux-on-azure/red-hat/>

2. Azure利用例

~Azure相談センターでの見積頻度が高い構成~

仮想マシン+VPN or Express Route



- ファイルサーバーの構築や、Active Directoryの冗長化、データベースサーバーの構築など様々
- インターネットへのサービス用の環境としてサーバーを構築する場合でも、保守用の回線としてVPNを用いることが多い
- IPsecによるVPN構成が多いが、Express Routeを用いた閉域網の構成もある

Azureバックアップ



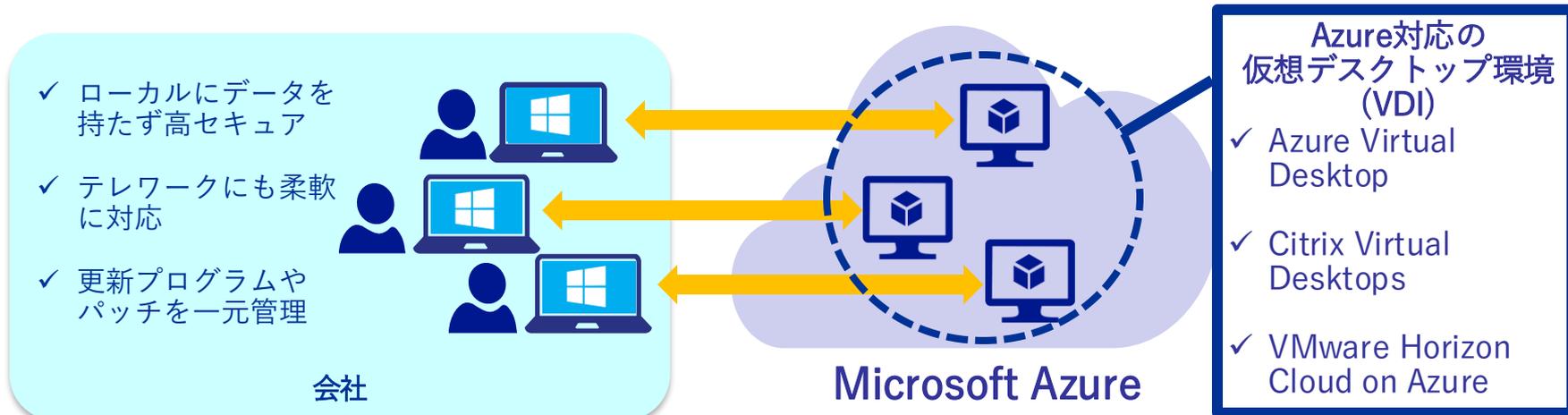
- オンプレミスのWindows Serverのバックアップの見積依頼だけでなく、Azureに構築した仮想マシンにバックアップを組み合わせた見積依頼が多い
- Azure Backup Serverを用いたオンプレミス環境のバックアップも可能
- 保存元インスタンス費用とストレージの利用料が発生するが、リストア時の費用は発生しない

バックアップソリューションとの組み合わせ



- Arcserve UDPなどのバックアップソリューションで、バックアップデータをAzureに保存する
- 既存のオンプレミス環境の保護のためだけでなく、Azureへの移行に利用するケースも増えてきている
- ストレージの利用料に加え、リストア時には通信料が発生する

仮想デスクトップ (Desktop as a Service: DaaS)



- Azure上の仮想マシンを、社内ユーザーのデスクトップ環境として利用する
- Azure上に仮想デスクトップ環境(VDI)を展開することで、オンプレミス上にVDIを展開する場合と比較し初期導入コスト、メンテナンスコストを抑えられる (スモールスタートが可能)
- Azure Virtual Desktop では Windows 10/11 マルチセッションも利用可能

Microsoft Azureを活用したクラウド ソリューションの例

シナリオ	代表的な Azure サービス
クラウド上へのシステム、サーバー展開	仮想マシン, App Service, VPN Gateway, ExpressRoute など
事業継続計画と災害対策 (BCP / DR)	Azure Site Recovery, Azure Backup, Azure Files など
Windows 10 のデスクトップ環境 (DaaS)	Azure Virtual Desktop, VMware Horizon Cloud on Azure, Citrix Virtual Apps and Desktops for Azure
SAP	SAP HANA 認定仮想マシン, SAP HANA on Azure
ビッグデータ & IoT	IoT Hub, Stream Analytics, Event Hubs など
AIの活用 (チャットボットなど)	Bot Service, Cognitive Service, Machine Learning など
メディア配信ソリューション	Azure Media Services など
ビジネス駆動の開発 (DevOps)	Azure DevOps, Application Insights など
クラウドを活用した開発環境/テスト環境の構築	仮想マシン, Azure DevOps など
ハイブリッド クラウド環境	Azure Stack, Azure VMware Solution など

3. Azure利用料の仕組み

Azure利用料の仕組み (1/4)

Azureの利用料は毎月固定ではなく、利用時間やリソース使用量、拡張機能の利用などにより変動します。また、請求は日本円ですが、ベースとなる価格は米国ドルで設定されているため、通貨換算レートによって価格が変動します。※1



仮想マシン

仮想マシンのサイズ×利用時間



ストレージ※2

保存しているデータ量 or 利用時間



ネットワーク※3

データセンターからの送信データ量



バックアップ※4

保護対象のデータ容量



VPN 接続

Azureのルーターの起動時間



サイト リカバリー

保護する台数×利用時間



障害対応サポート※5

CSPでは無償提供 (有償での拡張あり)

※1 Azure の料金に関する FAQ <https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/#FAQ>

※2 選択するストレージ種類によって異なります

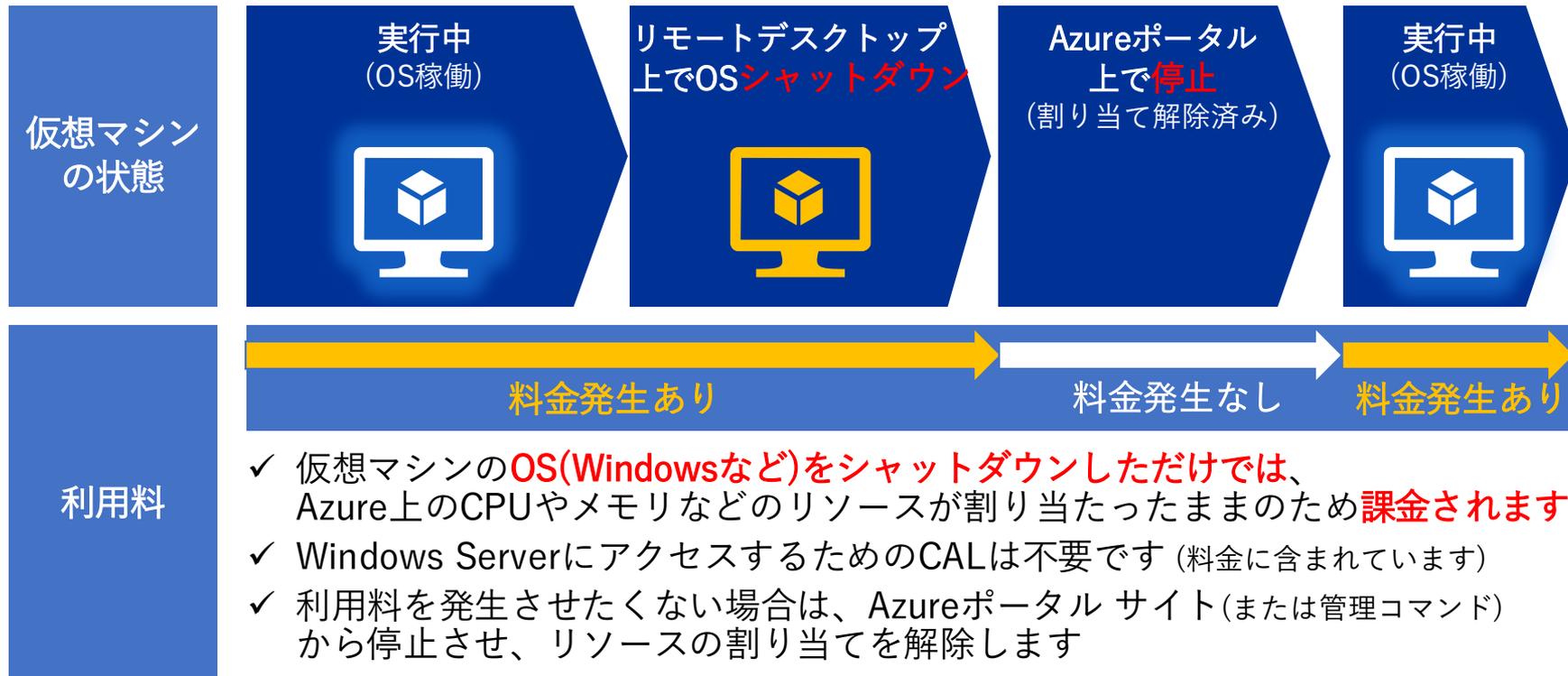
※3 データセンターへの送信データ量 (アップロード) は無料です

※4 復元時のネットワークの費用は発生しません

※5 無償：平日9:00～18:00、有償：24時間365日での対応となります

Azure利用料の仕組み (2/4)

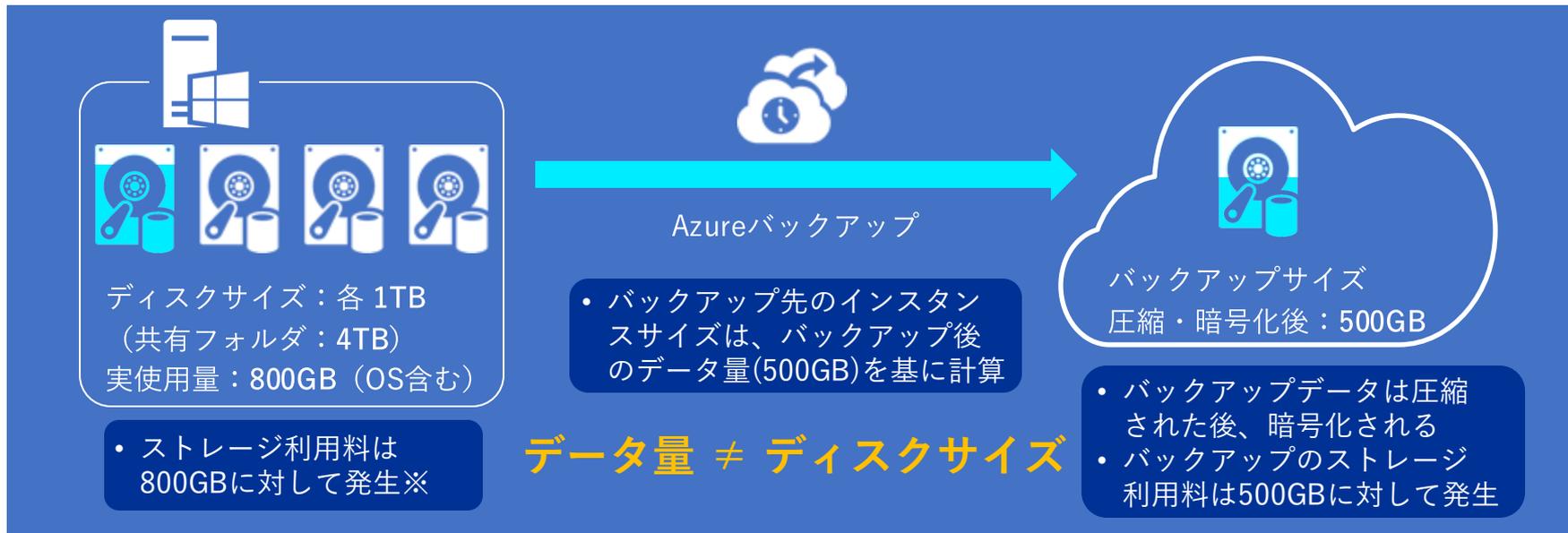
仮想マシンを停止するとコンピューティング費用 (CPU/メモリ分) は発生しません。
OSの停止 (シャットダウンのみ) では、課金されるため注意が必要です。



※仮想マシンに接続されているディスク ストレージについては課金されます

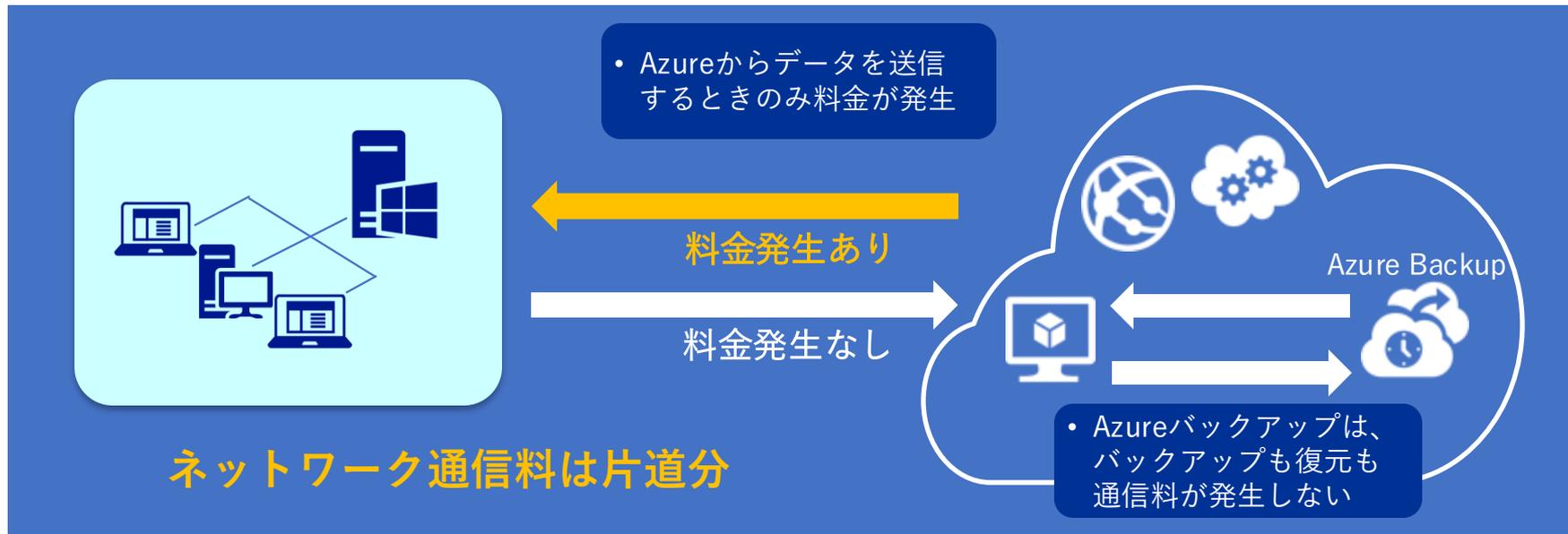
Azure利用料の仕組み (3/4)

- データ量はデータが保存されている総量で、ディスクのサイズではありません。
- ストレージ利用料は、仮想マシンのディスクサイズには影響を受けず、データ量で決まります。(バックアップ用のストレージも同様です)
- Azureは無駄に利用料がかからないよう配慮しています。



Azure利用料の仕組み (4/4)

- ネットワークの通信料は、Azureから送信される分で計算されます。
- Azureへの送信には料金は発生しません。
- Azureバックアップの場合のみ、送信にも料金はかかりません。



Microsoftサイトでの料金試算

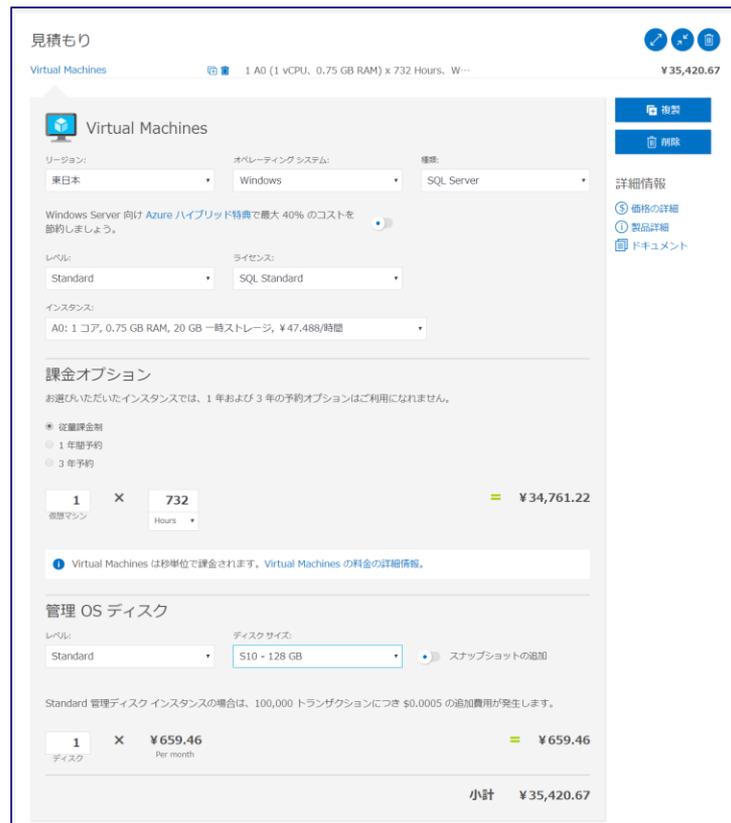
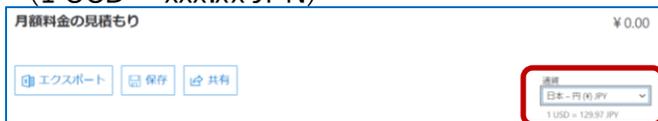
Microsoft社よりAzureの利用料を計算できるツールが提供されています。

料金計算ツール

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/calculator/>



当月の通貨換算レートが表示されます
(1 USD = xxx.xx JPN)



月額利用料の試算の前に

例えばサーバーを構築するには、仮想マシンサイズ、ストレージ、ネットワークなど、複数のサービスが関連します。

どのサービスを組み合わせることで構築したいものを実現できるか、理解や確認が必要です。

サーバー構築時に検討が必要な項目例



仮想マシン
サイズ



ネットワーク
帯域幅通信データ量



ストレージ
種類・容量



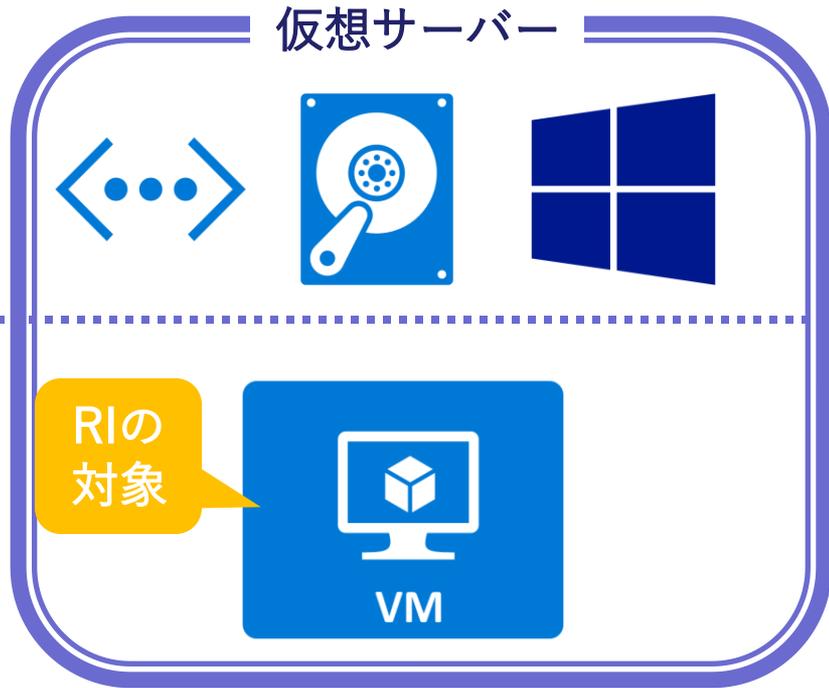
VPN接続
種類

4. Azure Reserved VM Instances

(Azure RI)

Reserved VM Instances (RI)とは

Azure の仮想サーバーのコンピューティングに対する割引サービスです。※
1年または3年の期間を決めて購入します。



Point

- ✓ ソフトウェアやストレージなどは対象外
- ✓ 仮想サーバー（コンピューティング）の使用料金が抑えられる
- ✓ 購入時に必要となる金額を用意する必要がある
- ✓ 一定期間、同じサイズを使用し続ける必要がある（※買替方法はあります）

※Azureで予約・コスト削減できる製品が増えたため、「Azureの予約」という名ではストレージ、データベース等、幅広い製品が予約可能となりました。

なお、CSPで取り扱い可能なものはCSP価格表をご参照いただくか、Azure相談センターにお問い合わせください。

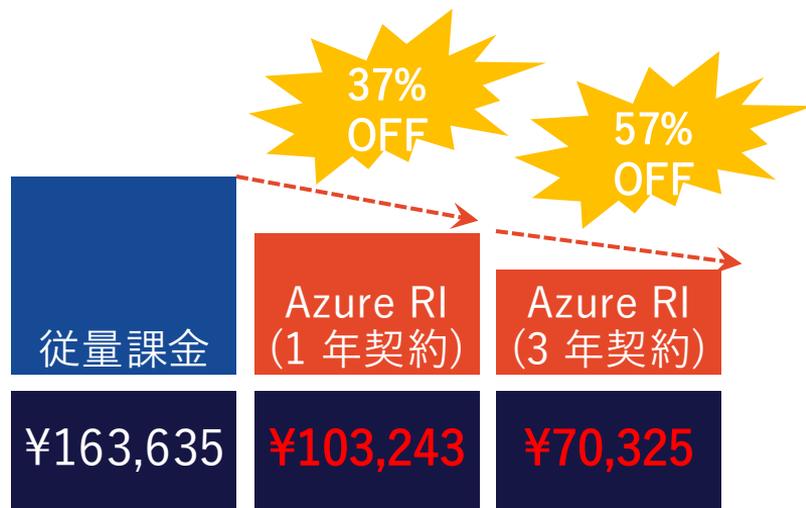
Azure の予約とは - Microsoft Cost Management | Microsoft Learn - 予約の対象となる料金

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/cost-management-billing/reservations/save-compute-costs-reservations#charges-covered-by-reservation>

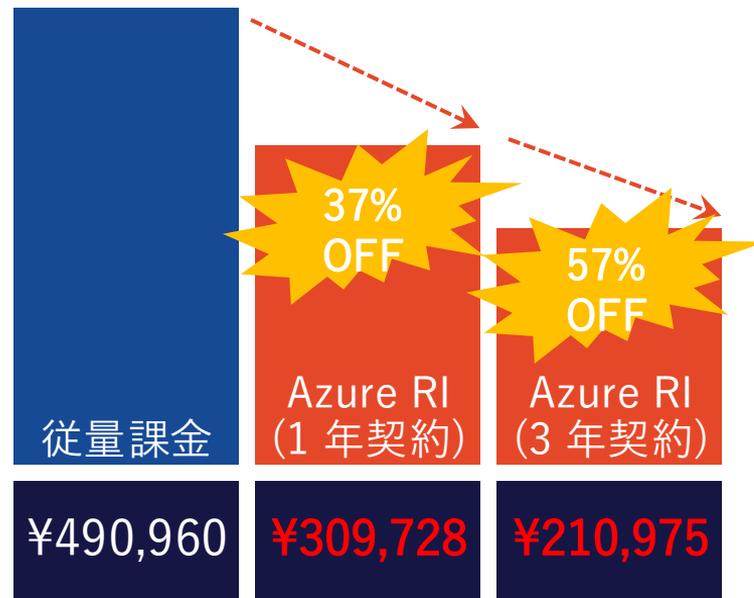
従量課金とRIのコンピューティング料金比較 = SB C&S

D2 v3インスタンス (Windows、2 vCPU、8 GB RAM、東日本) を購入する場合
※Azureハイブリッド特典の利用あり、ソフトウェアやストレージなどは対象外

1年間利用の場合



3年間利用の場合



※記載の価格は、2024年10月のMicrosoft社の一般公開価格です。
価格、割引率は仮想マシンのサイズごと異なります。

D2 v3インスタンス
(Windows、東日本)
1年契約 103,243 円

4か月分

1年契約のD2 v3を8か月目の最終日にキャンセル

- 残金 (4か月分) : $103,243 \text{ 円} \div 12 \text{ か月} \times 4 \text{ か月} = 34,414 \text{ 円}$
- 返品手数料 (12%) : $30,890 \text{ 円} \times 12\% = 4,130 \text{ 円}$

- ✓ 期間中いつでも RI をキャンセルできますが、**残金の12%が返品手数料**となります。
- ✓ 未使用期間の日割り計算で残金が算出されます。
- ✓ 返金は残金から返品手数料を差し引いて、次回のご請求から相殺となります。
- ✓ **1 顧客への返金額の上限は1年間(1月1日～12月31日)で5万米国ドル**までとなります。(マイクロソフト社の規定のため) 交換の場合 (残金が新しいRIの金額より大きい場合)、キャンセル料は発生しません。

Reserved VM Instances の交換

D2 v3インスタンス
(Windows、東日本)
1年契約 103,243 円

4か月分
(34,414 円)

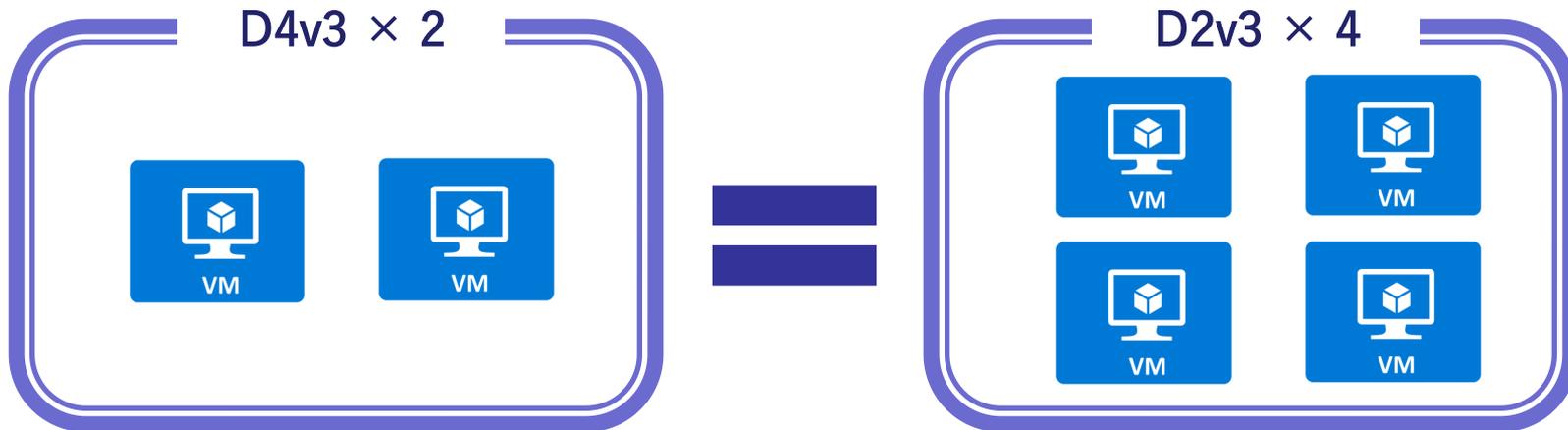
残存する分の 34,414 円は新しい
D4 v3 の購入に充当され、請求額は
171,931 円となります

D4 v3インスタンス
(Windows、東日本)
1年契約 206,346 円

- ✓ 既存のRI は新しい RI (インスタンス、データセンター、契約期間) にいつでも交換可能です
- ✓ 既存のRIの残りの期間は金額に換算され、新しい RI の購入金額に充当されます
- ✓ 新しいRI の購入金額は、既存のRIの残金と同額以上である必要があります

Reserved VM Instances の仮想マシンサイズの柔軟性 SB C&S

同じ柔軟性グループ内であれば、予め定められた比率に基づき、購入時と異なる仮想マシン サイズであっても予約が適用されます。



- ✓ D4v3 の予約を2つ購入した場合、1つあたりの比率が2であるため、計4のフットプリントを持ちます。
- ✓ D2v3 の比率は1であるため、D4v3 の予約2つ分はD2v3 の4台分に相当します。

※上記はDv3 シリーズの例です。詳細は下記 Web サイトからご確認ください。

仮想マシン サイズの柔軟性 - Azure Reserved VM Instances - Azure Virtual Machines | Microsoft Learn
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/virtual-machines/windows/reserved-vm-instance-size-flexibility>

柔軟性グループ名	仮想マシン サイズ	比率
Dv3 Series	Standard_D2_v3	1
Dv3 Series	Standard_D4_v3	2
Dv3 Series	Standard_D8_v3	4
Dv3 Series	Standard_D16_v3	8

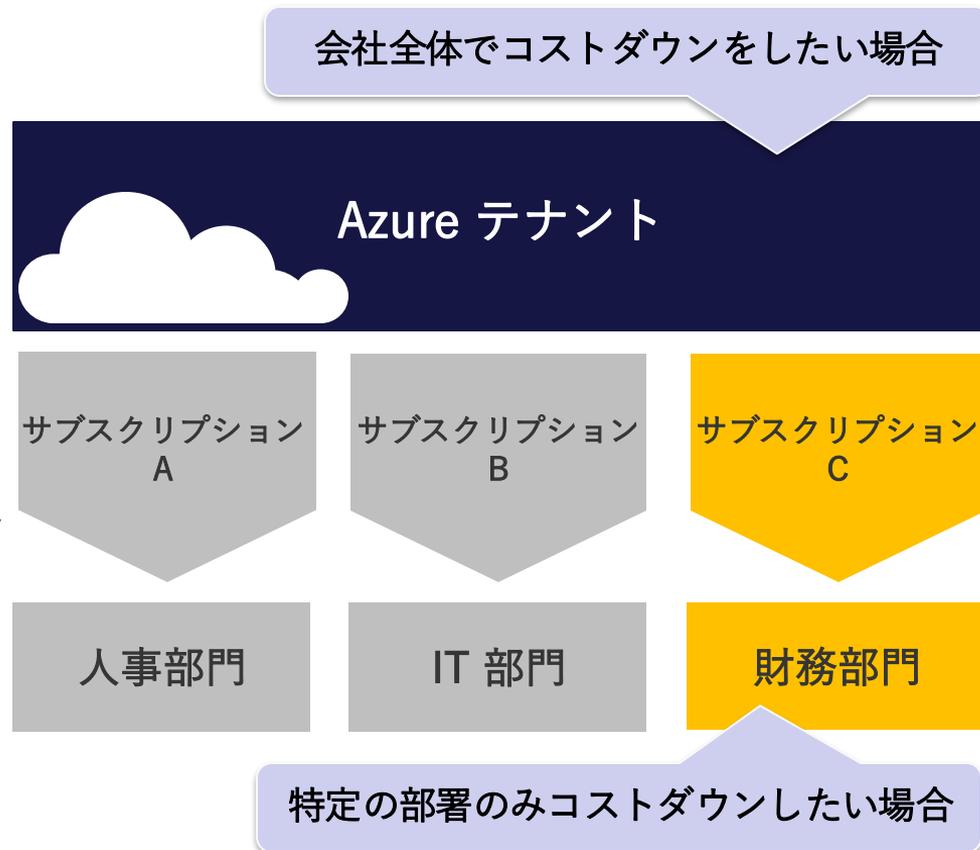
Reserved VM Instances の適用対象範囲

SB C&S

割り当て範囲を選択可能 (予約スコープ)

- ✓ 共有
- ✓ 単一のサブスクリプション
- ✓ 1つのリソースグループ

購入時に適用範囲をテナント/サブスクリプション/
リソースグループより選択します。
適用範囲内の仮想マシンに対して
割引価格が適用されます。
対象の仮想マシンを指定するものではありません。

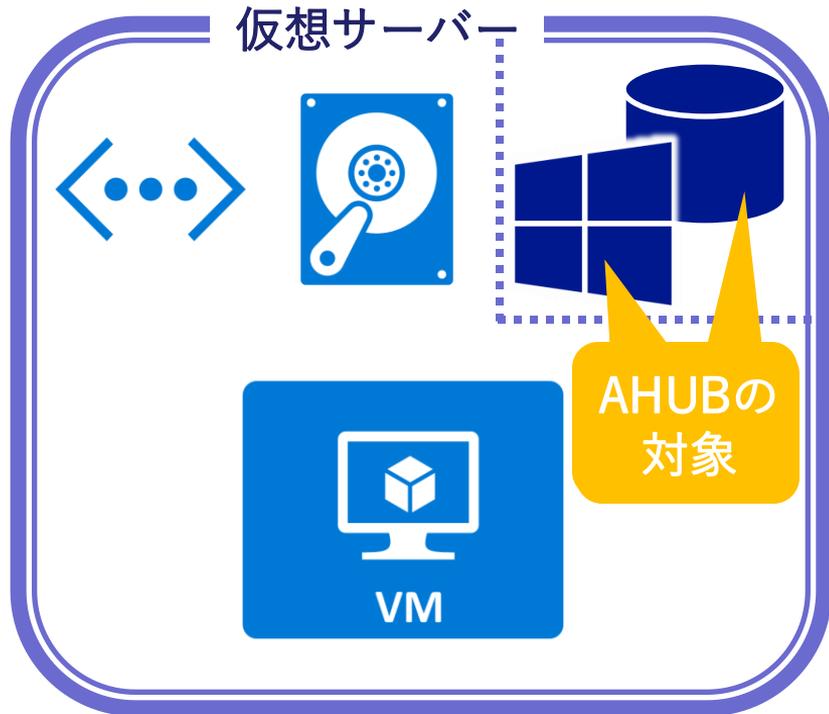


5. Azureハイブリッド特典

(AHUB)

Azureハイブリッド特典 (AHUB) とは

オンプレミスのライセンスを仮想マシンに適用することができるソフトウェア アシユアランスに含まれる特典です。



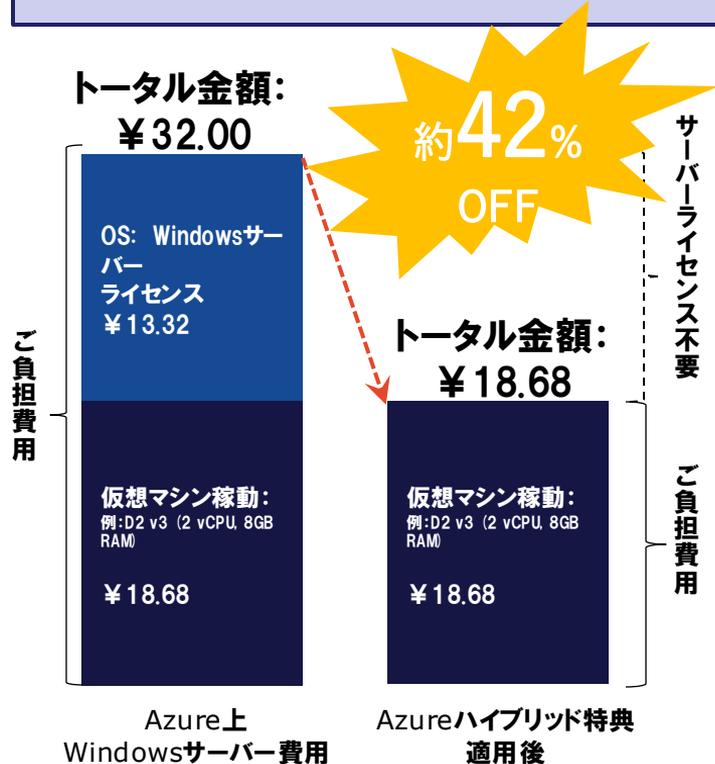
Point

- ✓ 有効なソフトウェア アシユアランス (SA) 付 Windows Server Core ライセンス、SQL Server Core ライセンス
- ✓ 所有しているライセンスを適用することで、使用するサーバーのライセンス費用がかかりません。

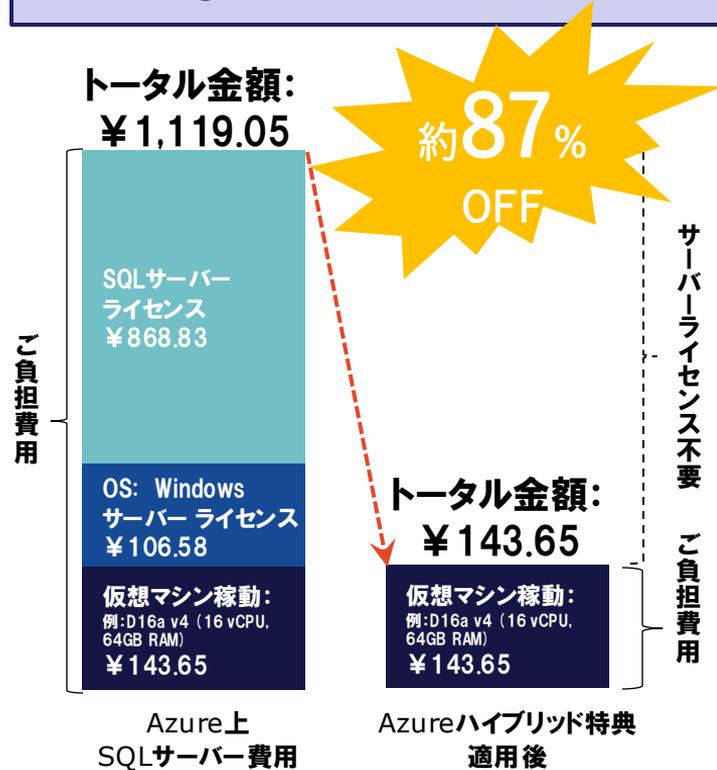
※ソフトウェア アシユアランスがない場合は、サブスクリプション ライセンス (ソフトウェア サブスクリプション) を購入することもできます。

Azureハイブリッド特典の価格例

Windows サーバーの場合



SQL サーバーの場合



※記載の価格は、2024年10月のMicrosoft社の一般公開価格です。価格、割引率は仮想マシンのサイズごと異なります。

実際に節約できる額は、リージョン、インスタンスの種類、使用方法によって異なります。

対象となるライセンス

アクティブなソフトウェア アシュアランスまたは対象となるサブスクリプション ライセンス付きの SQL Server および Windows Server のライセンス。これには次のものが含まれます。

- ソフトウェア アシュアランス付きの Windows Server Datacenter エディション。
 - ソフトウェア アシュアランス付きの Windows Server Standard エディション。
 - ソフトウェア アシュアランス付きの SQL Server Enterprise コア ライセンス または条件を満たすサブスクリプション ライセンス。
 - ソフトウェア アシュアランス付きの SQL Server Standard コア ライセンス または条件を満たすサブスクリプション ライセンス。
-
- RHEL、SLESの各種ライセンスは適用可能で、OEMライセンスは適用不可
 - Azure SQL Database サーバーレスには適用不可

サブスクリプション ライセンス (ソフトウェア サブスクリプション)

ソフトウェア アシュアランスがない場合は、新しいライセンスを使用して、リストに掲載されている価格で、または、条件を満たすサブスクリプション ライセンスで購入することもできます。

- Windows Server向けAzureハイブリッド特典の適用条件は8コア以上です。
- 仮想マシンのコア数に応じたライセンス数量が必要です。
- 仮想マシン1台あたりの最小コア数は8コア以上です。
- 有効なソフトウェアアシュアランスまたはサブスクリプション ライセンスの期間中のみ実行できます。

8コアライセンス

2vCore



例えば2vCoreの仮想マシン1台でも特典を適用するためには8コアライセンスが必要です。

16コアライセンス

2vCore



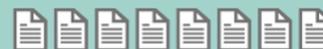
2vCore



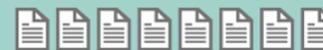
仮想マシン1台あたりの最小コア数は8コア以上です。
2vCoreの仮想マシン2台の場合は16コアライセンスが必要です。

32コアライセンス・・・

16vCore



8vCore



2vCore



- SQL Server向けAzureハイブリッド特典の適用条件は4コアライセンス以上です。
- 仮想マシンのコア数に応じたライセンス数量が必要です。
- 仮想マシン1台あたりの最小コア数は4コア以上です。

4コアライセンス

2vCore

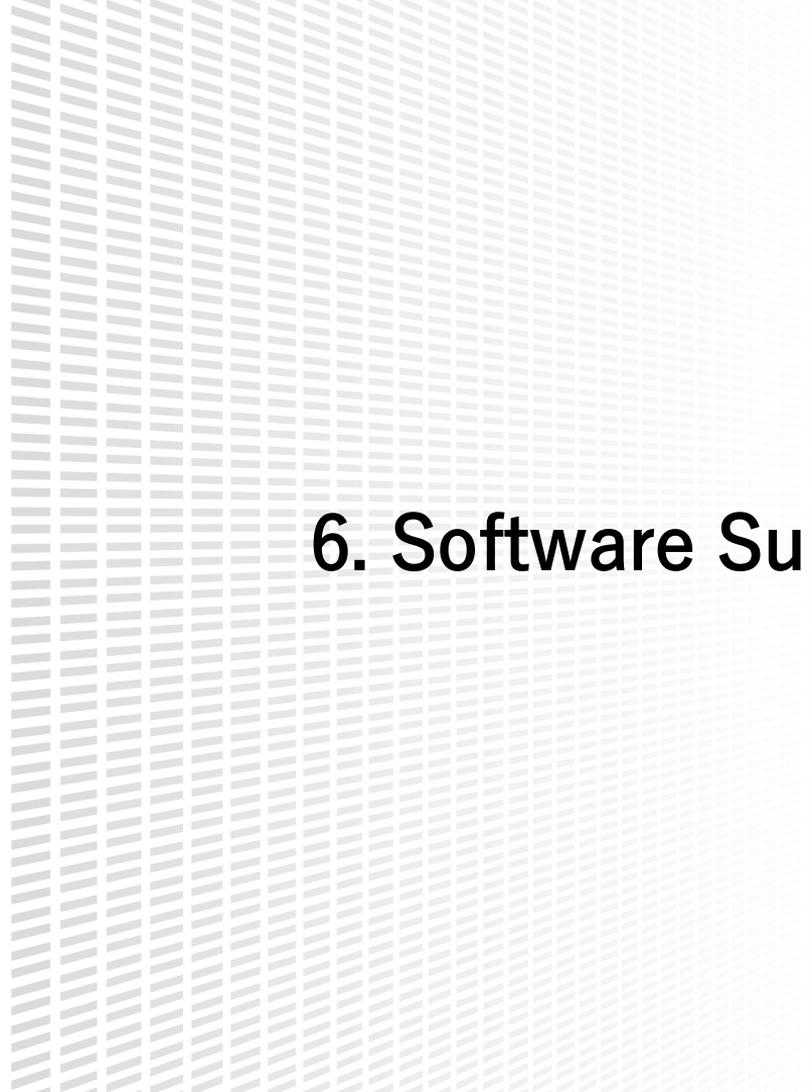


例えば2vCoreの仮想マシン1台でも特典を適用するためには4コアライセンスが必要です。

ライセンスの比率

SQL Server Enterprise Edition のコアライセンスは、サービスレベルに応じてライセンスの比率が異なります。

サービスレベル	ハイパー スケール	汎用	Business Critical
オンプレミスの1コア			
SQL Server Enterprise Edition	4vCore	4vCore	1vCore
SQL Server Standard Edition	1vCore	1vCore	1vCore



6. Software Subscription

Software Subscriptionとは

CSPプログラムで購入できるサブスクリプションライセンスです。
クラウドでは唯一Azureにのみ持ち込みが許されています。

Point !

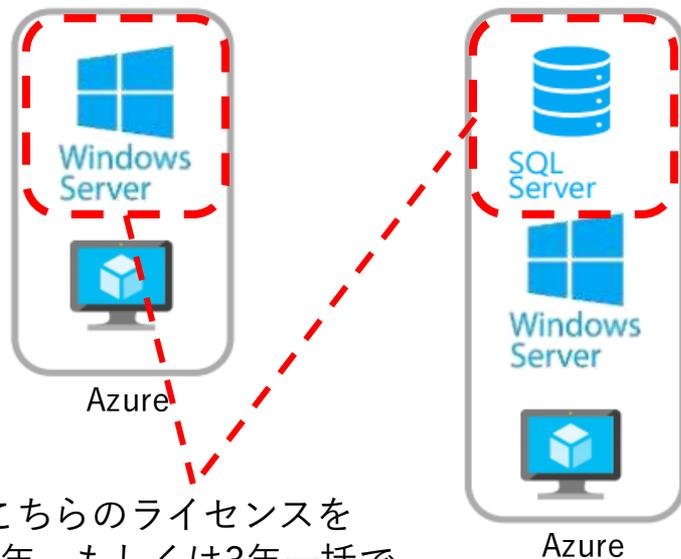
Azureハイブリッド特典で利用できます！

■ Azureハイブリッド特典とは？

SA付のサーバーライセンスを使用して、割引料金が適用できる特典です。

Azure Virtual では最大 40%、Azure SQL Database と Azure Virtual Machines SQL Server では最大 55% 節約できます。さらに、Azure Reserved Instances と組み合わせると最大で 80% 節約できます。

* 実際に節約可能な料金は、リージョン、インスタンスタイプ、使用方法によって異なります。



こちらのライセンスを
1年、もしくは3年一括で
購入する商品です。

Software Subscriptionのライセンスの種類

Software Subscriptionで提供しているライセンスは以下の通りです。

- Windows Server Standard - 8 Core License Pack - 1 year
- Windows Server Standard - 8 Core License Pack - 3 year
- SQL Server Standard - 2 Core License Pack - 1 year
- SQL Server Standard - 2 Core License Pack - 3 year
- SQL Server Enterprise - 2 Core License Pack - 3 year
- SQL Server Enterprise - 2 Core License Pack - 1 year

サーバーライセンス以外にもRDS ユーザーCALも提供しています。

- Windows Server Remote Desktop Services CAL - 1 User CAL - 1 year
- Windows Server Remote Desktop Services CAL - 1 User CAL - 3 year

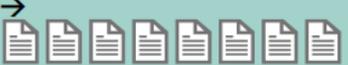
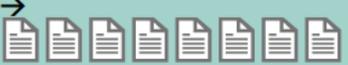
Software Subscriptionの購入ガイド

Windows Server Subscriptionの場合

- Software SubscriptionはVMのコア数に応じた数量が必要です。
- 最小購入単位は「8コア」
- Azureハイブリッド特典の適用条件は16コア以上

※仮想マシン（VM）ごとに最小購入単位での購入が必要

例)

F1	1 core	\$ 	
E2s v3	2 cores	\$ 	
D3	4 cores	\$ 	
D13 v2	8 cores	\$ 	
E16 v3	16 cores	\$ 	\$ 

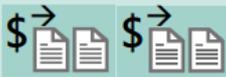
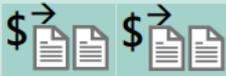
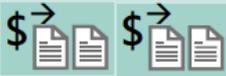
Software Subscriptionの購入ガイド

SQL Server Subscriptionの場合

- Software SubscriptionはVMのコア数に応じた数量が必要です。
- 最小購入単位は「4コア」

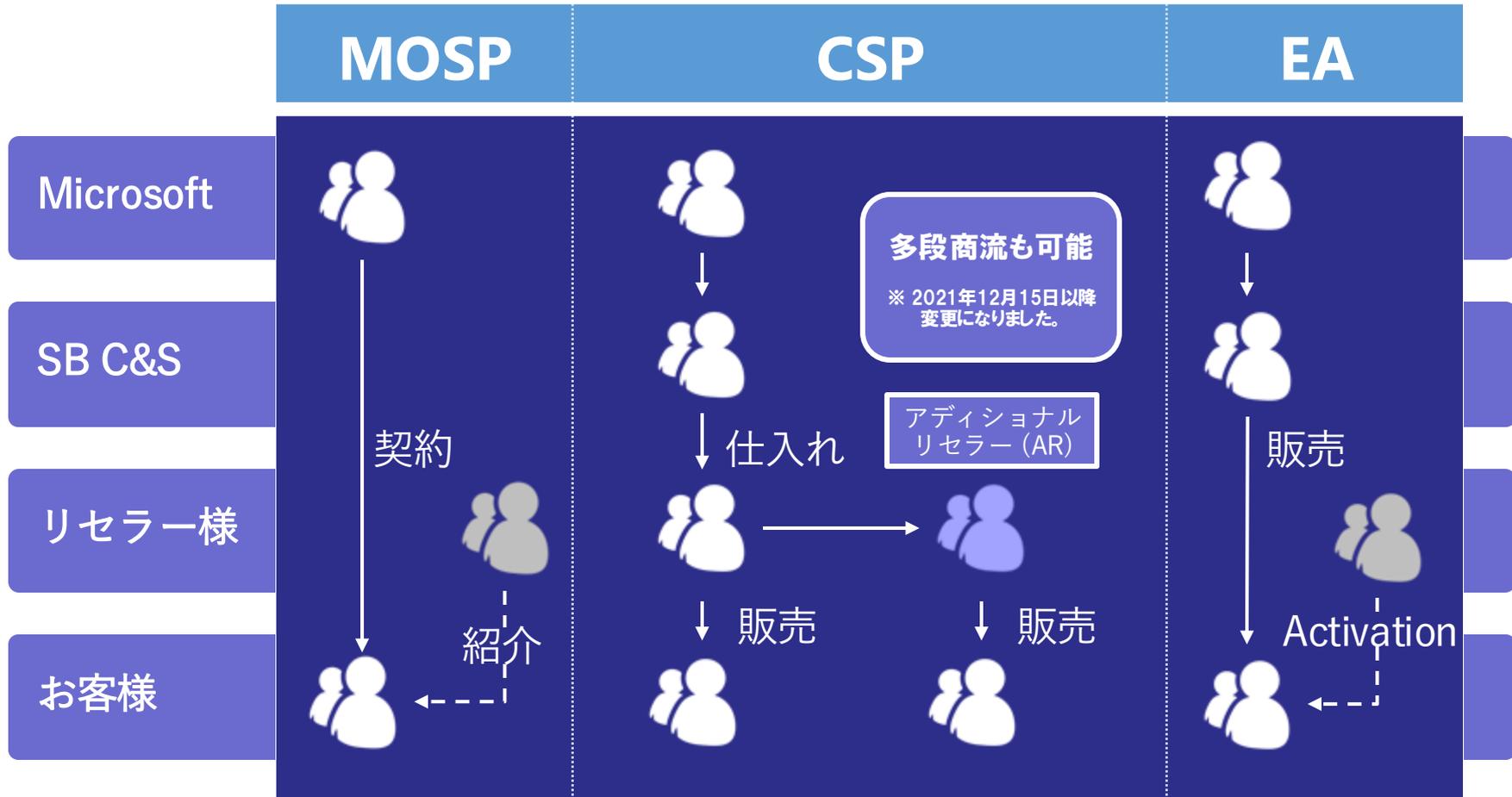
※仮想マシン（VM）ごとに最小購入単位での購入が必要

例)

F1	1 core	
E2s v3	2 cores	
D3	4 cores	
D13 v2	8 cores	
E16 v3	16 cores	

7. Azure ライセンス

主な販売モデル (1/2)



※ Openライセンスは 2021年12月31日をもって販売終了となりましたが、Open Valueライセンスは引き続き提供されています。

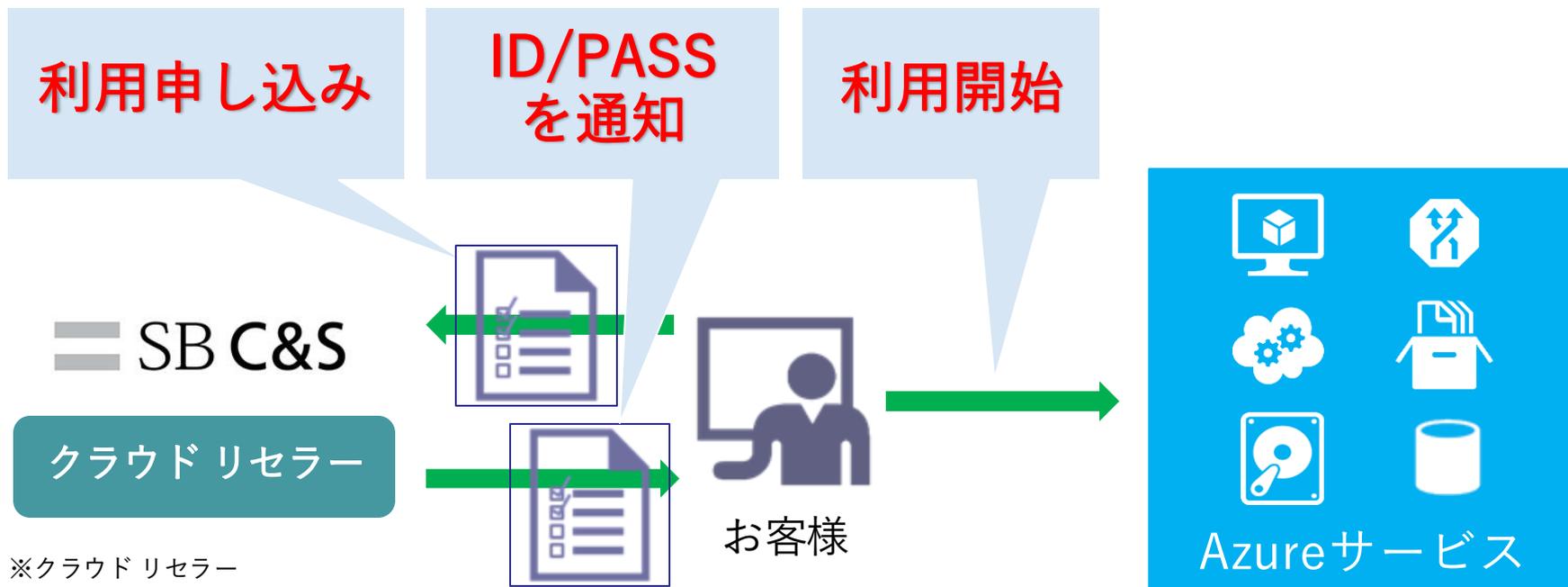
主な販売モデル (2/2)

	MOSP	CSP	EA
販売形態	Microsoft 直接販売	リセラー様から 卸売販売	弊社 直接販売
契約 有効期間	いつでも 解約可能	いつでも 解約可能	長期(3年)
利用 契約条件	従量課金	従量課金	年間約160万 前後から締結 プリペイド
支払形態	クレジットカード/請求 書払	請求書	請求書
サポート	Microsoft	SB C&S	Microsoft

※ Openライセンスは 2021年12月31日をもって販売終了となりましたが、Open Valueライセンスは引き続き提供されています。

CSP ライセンスのポイント

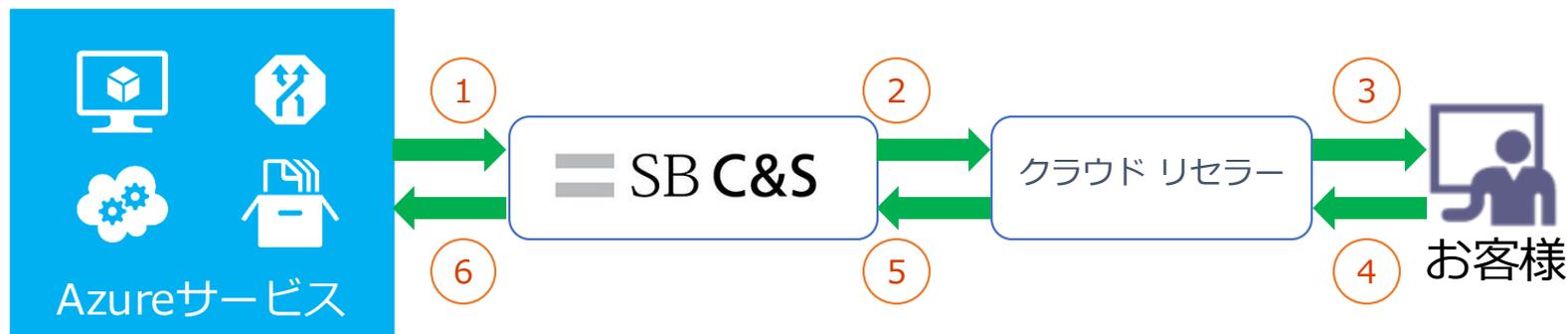
	CSP
特徴	従量制での利用。スケールアップ等行った場合の急激な利用料金増加にも対応できる
仕入先	SB C&S
販売形態	所定の手続きを行ったリセラー様より販売 (毎月の請求書)
提供方法	1ヶ月分の利用料を事後支払
有効期間	なし (ただし、2年間利用実績がない場合はサブスクリプションは停止される)
Microsoft アカウント	不要
利用開始までの流れ	申請書登録後利用可能
サポート	SB C&Sによるサポート



※クラウドリセラー

= 所定の手続きを行ったリセラー様

CSP:利用料支払いの流れ

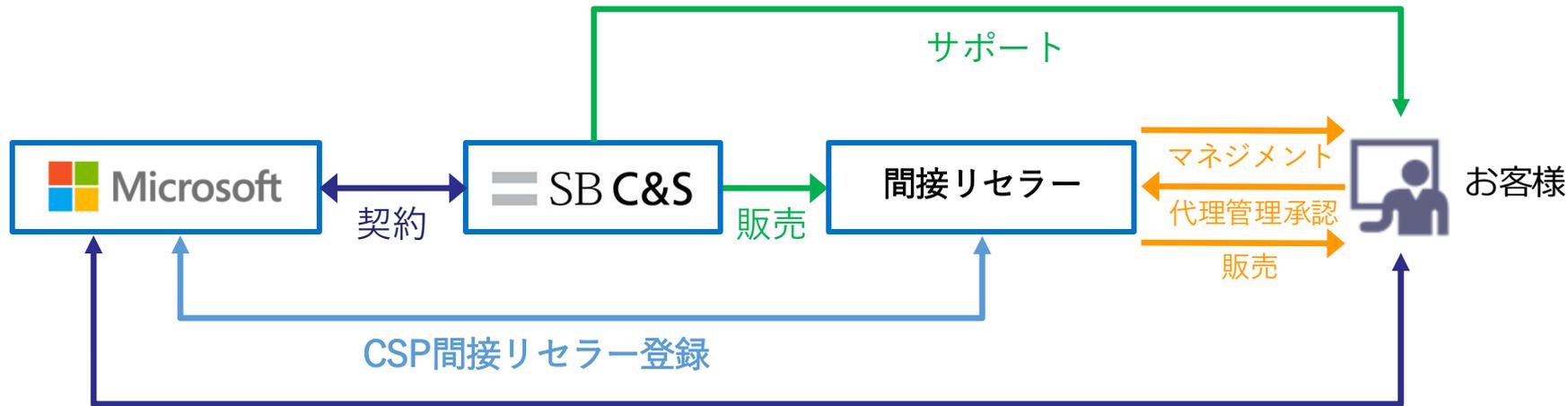


- ① 請求情報取得
- ② SB C&Sから各クラウド リセラー様へ自動請求
- ③ クラウド リセラー様から各お客様へ自動請求
(請求書送付はリセラー様のタイミングによる)
- ④ 利用料の支払い
- ⑤ 利用料の支払い (④の支払の完了未完了に関わらず発生)
- ⑥ 利用料の支払い

Microsoft CSP (間接リセラー) 契約関係

SB C&S

- Microsoft 365/Azure共通
- クラウドリセラーは、契約関係上は間接リセラーと呼ばれます。



MCA (Microsoft Customer Agreement: マイクロソフト クラウド契約)

Partner Centerによるお客様管理
CSPリセラー承認をお客様から受ける

間接リセラー登録方法

間接リセラー登録は3ステップ！

インダイレクトリセラー

複雑さとコストを減らして市場進出を加速

インダイレクトリセラーは、顧客関係の管理に役立つツールやリソースを提供するインダイレクトプロバイダーと協働します。Microsoftとの関係も維持しながら、カスタマーサポートと請求において共同作業を行うインダイレクトプロバイダーから購入を行います。このモデルはほとんどのパートナー様にお勧めです。次の手順で開始できます。

ステップ1: Microsoft AI Cloud Partner Program に参加する 参加すると、事業拠点のパートナーIDを受け取ります。これは、CSPパートナーとして登録するために使用します。 今すぐ開始	ステップ2: クラウドソリューションプロバイダーとして登録する 登録フォームを完成してビジネスの種目に合格し、Microsoft Partner Agreement (MPA) に同意して、パートナーセンターアカウントを有効化します。 フォームを送信する	ステップ3: インダイレクトプロバイダーを探す 貴社の事業拡大の道徳とCSP戦略を支援できる、他のインダイレクトプロバイダーとつながることができるのができます。 プロバイダーを探す
---	--	---

<https://partner.microsoft.com/ja-JP/membership/cloud-solution-provider>

ステップ1 ※旧マイクロソフトパートナーネットワーク(MPN)マイクロソフトクラウドパートナープログラム(MCPP)に参加する



既にお持ちの方はスキップしてください。

ステップ2 サインナップする



登録完了すると、Partner Centerに“CSP”のタイルが表示されるようになります。

登録済の方はスキップしてください。

ステップ3 間接プロバイダーの登録

下記のリンクから登録頂くことでCSP間接リセラーの登録完了となります。(数分)

[間接リセラー] 様

SB C&S株式会社を貴社の Microsoft 間接プロバイダーとしてご承認いただけないかというご依頼が来ています。間接リセラー様である貴社は、間接プロバイダー様へのアクセスを通じて、販売インセンティブの対象となり、より幅広い製品をお取り扱いいただけるようになります。

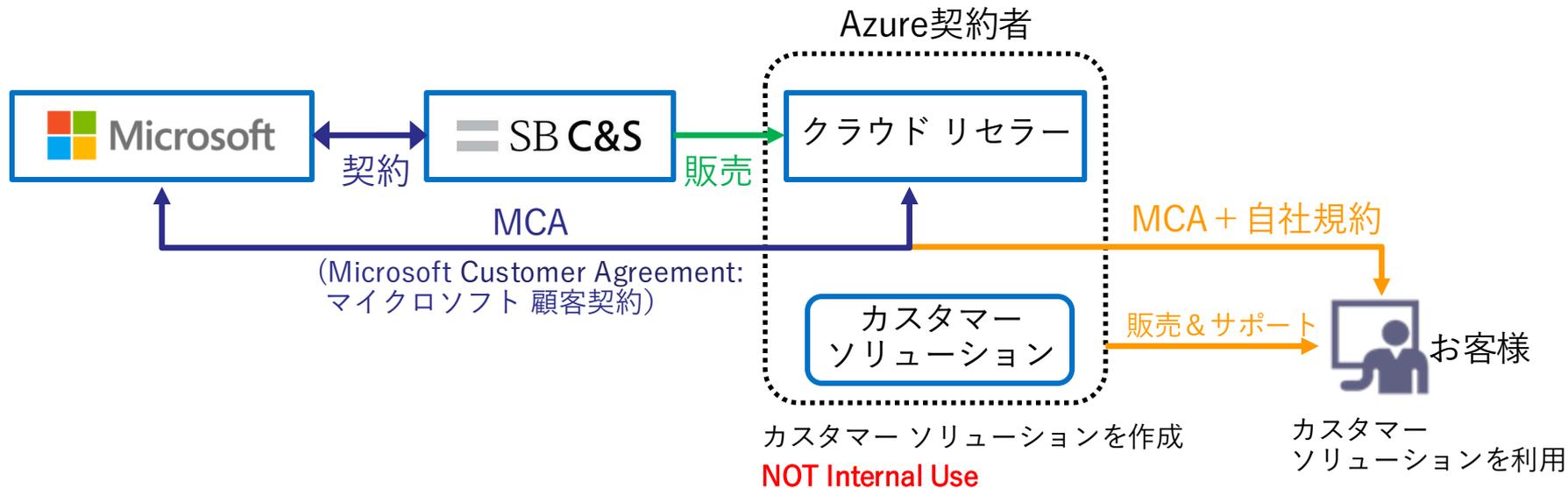
このご依頼を受け入れて SB C&S株式会社を貴社の Microsoft 間接プロバイダーとして承認するには、次のリンクをクリックします。ぜひ、このパートナーシップにご参加ください！

<https://partnrcenter.microsoft.com/commerce/indirectresellers/relationshiprequest/123d461c-8e76-402d-bc2f-b1e738b5fb48>

間接プロバイダー 情報:
microsoft-cloud@supportweb.jp
03-6627-1413

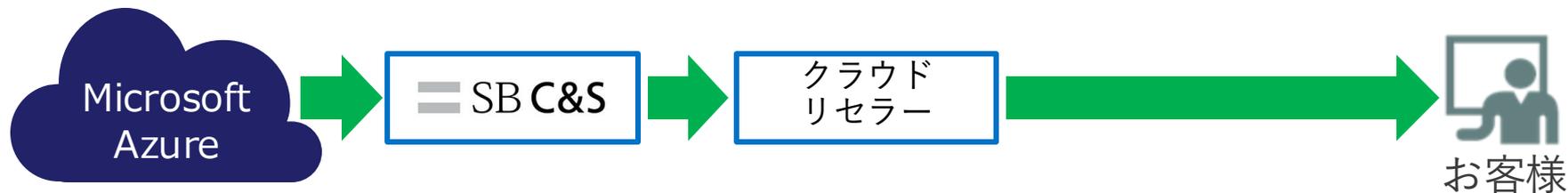
Azure 第三者使用

- クラウド リセラー様がカスタマー ソリューションを作成
- 他のお客様に利用していただく (OST上許諾)



販売商流での注意点 ※ 2021年12月15日以降、変更になりました SB C&S

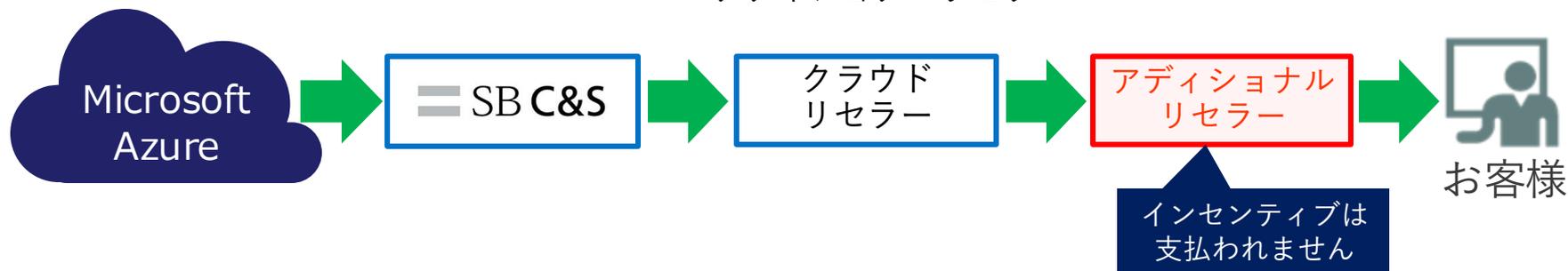
クラウドリセラーは Azure を使用するお客様へ直接販売することができます。



NCE (Azure プラン) のみ

クラウドリセラーとお客様の間に 1 社のみ別の販社が入ることができます。

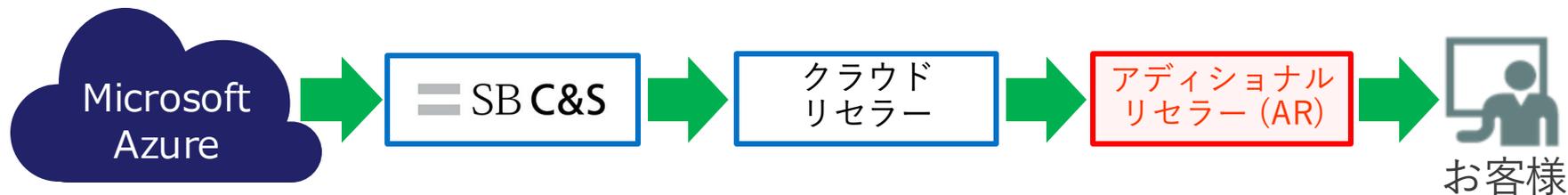
アディショナルリセラー



多段商流の注意点

クラウドリセラーとお客様の間に別の販社が入る場合、いくつか注意点があります。

アディショナルリセラー



- **NCE (Azure プラン) のみ**多段商流が可能です。
(従来のAzureでは多段商流は認められていません。新しいAzure プランのみ多段商流が可能です)
- アディショナルリセラーは、**1社のみ**認められます。
- クラウドリセラーの関連会社はアディショナルリセラーになれません。
また、お客様の関連会社がアディショナルリセラーになることもできません。
(関連会社：資本関係50%以上)
- アディショナルリセラーには、**インセンティブは支払われません。**
- アディショナルリセラーは、MPN ID を取得し MPA に同意する必要があります。
- クラウドリセラーは、発注時にアディショナルリセラーの情報を提出します。
(アディショナルリセラーの企業名と有効な MPN ID)

CSP ご契約者様向けサポートサイト

SB C&S

マイクロソフト クラウドサポート

 https://support.licensecounter.jp/end_user_login?site_domain=microsoftcsp

対応時間：09：00-18：00

(月~金、ただし、祝日及び当社の休日を除く)

FAQ は 24 時間 365 日ご利用いただくことができます。

(システムメンテナンス時を除く)



契約者様の問題解決を強力にサポート！

SB C&Sでは、弊社から販売店さまを通じてMicrosoft CSP (Office 365、Microsoft 365、Azure) のご契約をいただいたユーザーの皆さまに、ご利用時の様々な疑問を解決するMicrosoft Cloud サポートサイトを公開しています。

サイトよりサポート窓口にお問い合わせが可能！

お問い合わせ内容は「マイページ」で一括管理されますので、サポート進捗や、過去の確認もより便利になります。

- 初回ご登録が必要です。
- ※ お問い合わせをされる方に管理者権限や代理権限等の権限が必要となります。
- ※ Azureの料金体系・利用料・支払に関するお問い合わせは、CSPサポート窓口では対応していません。
- ※ 詳しくはサポートサービス規約をご確認ください。

マイクロソフト クラウドサポートは、SB C&S株式会社が運営するサポート窓口です。

8. CSPのFAQ・注意点

見積りの概念がない

従量課金（リソースを使用した分だけ毎月請求）となります。
事前に費用を見積り、発注や支払いを行うわけではありません。

CSPも従量課金！



Microsoft Azure

稼働した分だけ
請求されます

料金を試算するには？

以下の方法にてWebで公開されている価格をもとに試算できます。

- ✓ 料金計算ツールをリセラー様にて使用する
- ✓ Azure相談センターへ構成を指定して依頼する

正確な請求額はCSP価格表をもとに、
リセラー様にて計算が必要です

※CSP向けのAzure価格表については、弊社担当営業までお問い合わせください。

9. ライセンス販売支援制度

~Azure相談センターについて~

Azureライセンス 販売パートナー

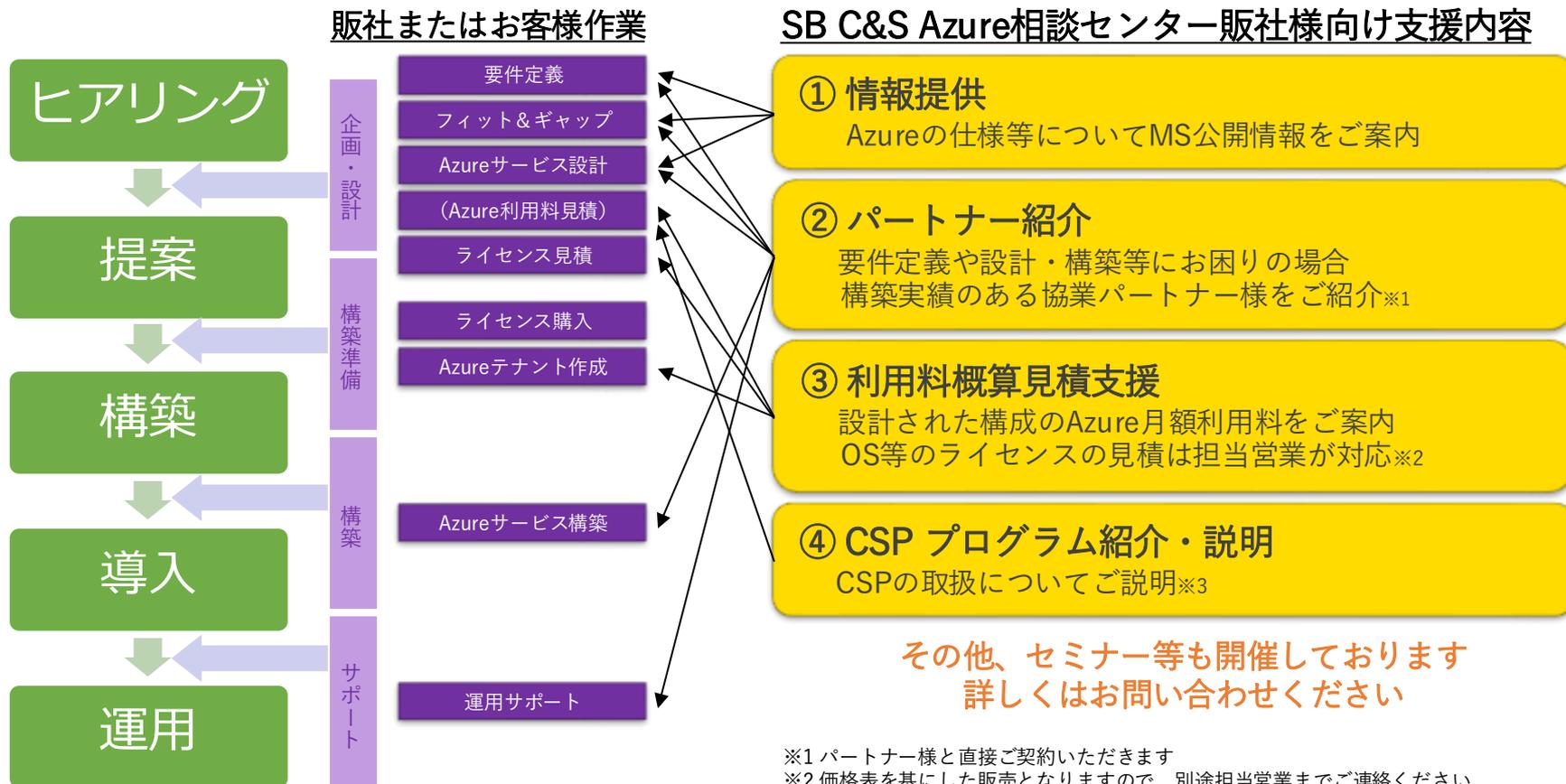
- Openライセンス、EA導入実績多数のSB C&Sが、パートナー様の**販売をサポート**します。
- Azureの構築経験のある**パートナー紹介**が可能です。

ライセンス コンサルティング

- Microsoftライセンス専任担当が、**無償で最適なライセンス**の購入方法を提案します。
- 合わせて利用する**3rd Party ソフトウェア**のライセンスも確認します。

アドオン ソリューション

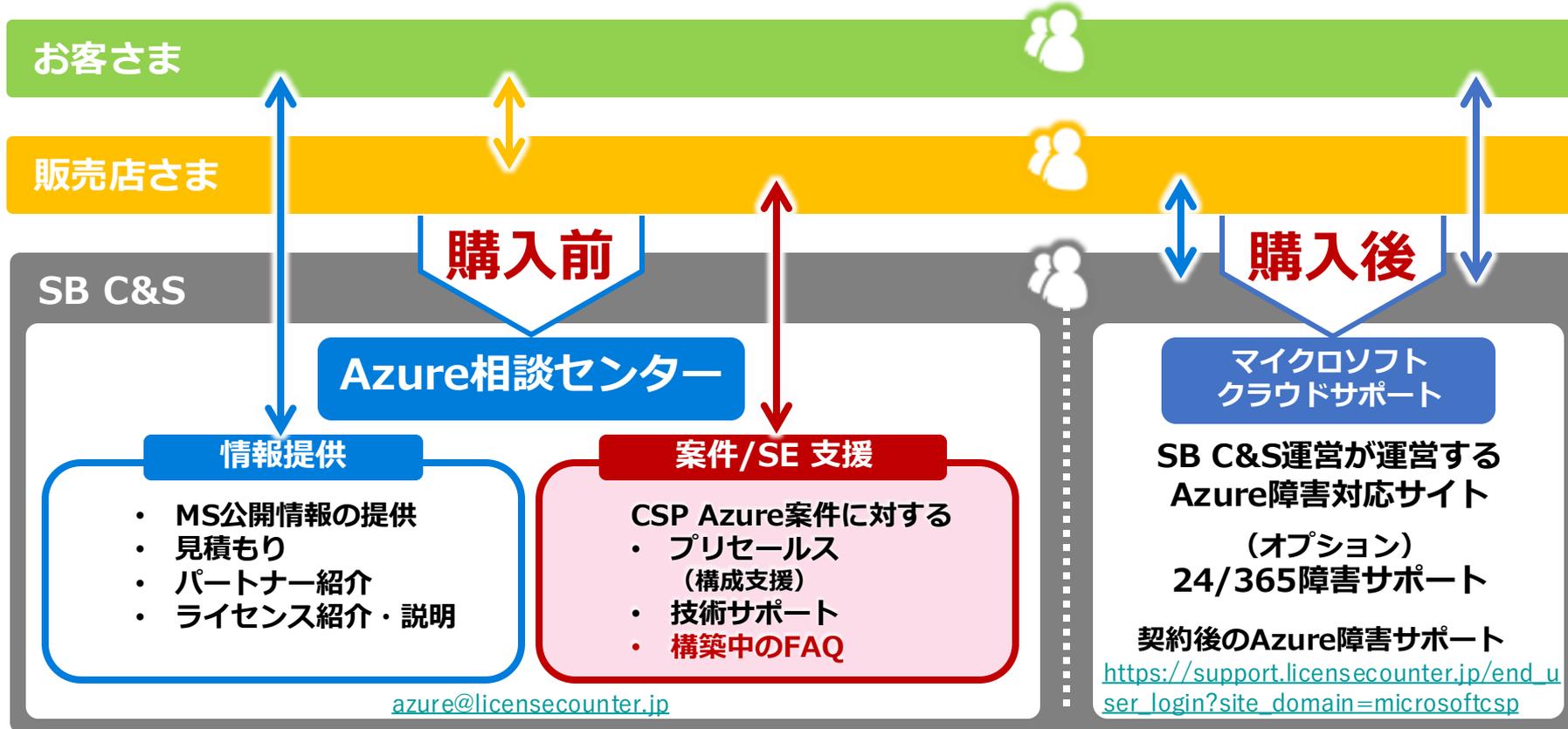
- Azureを**さらに便利に活用**するための、多彩なアドオンソリューションをご紹介します。



※1 パートナー様と直接ご契約いただきます
※2 価格表を基にした販売となりますので、別途担当営業までご連絡ください
※3 Azureの概要と合わせ勉強会の開催が可能です

CSP Azure販売支援体制

購入前/情報提供、契約後/障害サポートなど、販売店さまとお客さまを幅広くサポートします。



Azure のことなら、 SB C&S Azure 相談センター

 <https://licensecounter.jp/azure/>

 azure@licensecounter.jp

Azure の導入に際してのご相談はSB C&S !

ソフトウェアの流通はソフトバンクグループの創業事業。長年の実績と多用途かつ豊富な知見経験を持ち、Azure の導入・販売支援においても高い評価をいただいています。また、さまざまな分野のエキスパート企業との協力的なパートナーシップによる多岐にわたる Azure 関連ソリューションのご提供も可能です。Azure のことなら、どんなことでも SB C&S の Azure 相談センターにお気軽にご相談ください。

Azure の販売を検討の方もお気軽にご連絡ください

Azure 相談センターでは、現在 Azure の販売を検討されている企業の皆さまからもお問い合わせをお待ちしております。
販売開始にあたってのご支援も、SB C&Sにお任せください！

Case 1



リセラー様

仮想マシンの構成時、可用性オプションで「可用性セット」が選択可能ですが、

- ・仮想マシンを1つ作成し、この仮想マシンに対して可用性セットを設定するだけで良いのでしょうか。
- ・同じ用途の仮想マシンを2つ以上作成しておかないと機能しないのでしょうか。

後者の認識となります。可用性セットは、たまたまデプロイした複数の仮想マシンが同じラックに集中し、メンテナンスや障害時に一斉にダウンすることを防ぐ目的としてご利用いただくものとなっております。

また、Azure Load Balancer により負荷分散させる際は、対象となる仮想マシンは可用性セットか可用性ゾーンである必要があります。負荷分散構成をとる際の前提となる仕組みの一つです。



相談センター

Case 2



リセラー様

NetworkSecurityGroup(NSG) について

Azure上に、複数のサブネットを作り、その間での通信も確保したいと思っています。各サブネット毎に、NSGを作り、そこに仮想マシン等を作成すると思っています。サブネット間の通信は、このNSG間をルーティングすれば、通信可能と思っていますでしょうか？

NSGはあくまでどのような通信を許可/禁止するのかといったFW的要素となっており、ルーティングは仮想ネットワーク側の設定で行う必要があります。

同じ仮想ネットワーク内のサブネット間であれば、特別な設定なく通信可能です。別の仮想ネットワーク上のサブネット間の通信であれば、ピアリング設定を行うことで通信可能となります。



相談センター

Azure相談センター 概算見積例



リセラー様

以下の要件にて、Azureの月額試算をお願いします。

- ・ Azure Virtual Machine*2台
- CPU:1P4C
- メモリ:16GB
- OSディスク:32GB
- データディスク:300GB
- ※ディスクは全てマネージドディスク

◆SB C&S Azure相談センター 『Microsoft Azure 見積構成支援ヒアリングシート』◆

■見積依頼の流れ■

- (1) 本シートに Azure 見積構成用の必要事項をご記入ください。
- (2) Azure相談センター問合せ窓口メールアドレス宛に本シートを添付して御見積をご依頼ください。
- (3) システム仕修費や構成図を本シートと併せてお送り頂くことより正確な御見積が可能です。
- (3) マイクロソフトのWEBサイトに記載されているサービス価格にて月額利用料を計算し、ご案内いたします。

■依頼者情報■

会社名		販売はコブラ→	azure@licensescouter.jp
顧客会社名			
サブスクリプション種類	Open	CSP	未定

■Azure IaaS システム構成/システム概要■

Azureで必要とするスベックまたは、Azureに移行すると想定されるサーバーのスベックをご記入ください。

役割 / サーバー名など	サーバー (1)	サーバー (2)	サーバー (3)	サーバー
用途 (現状の機能)				
台数 [台]				
OS (Windows, Linux など)				
CPU/コア数 [個/コア]				
Memory [GB]				

ヒアリングシートを用意しています!

■見積対象システムの構成概要および前提条件

- ・ 価格はマイクロソフトのウェブサイトでの公開価格となります。
- ・ 東日本リージョンでのお見積りとなります。

■月額利用料金見直し

No.	利用サービス	用途	サイズ/プラン	月額単価	利用数量	月額概算費用	備考
1	Virtual Machines		Standard D4s3 Windows	¥36,137.92	2	¥72,276	4コア、16GBメモリ
7	ストレージ		Standard Managed Disk S10	¥559.46	2	¥1,119	ディスク容量:128GB OSディスク 10,000h-ランゲーション/¥0.0560/費用が別途かかります。
8	ストレージ		Standard Managed Disk S20	¥2,437.12	2	¥4,875	ディスク容量:512GB データディスク 10,000h-ランゲーション/¥0.0560/費用が別途かかります。
4	帯域幅			¥13.44/GB (5GB~10TB)	5GB	¥0	毎月最初の5GBは無料
月額概算費用合計						¥78,470	

概算見積結果をExcelにて提供!

下記内容にてお見積りを作成いたしました。

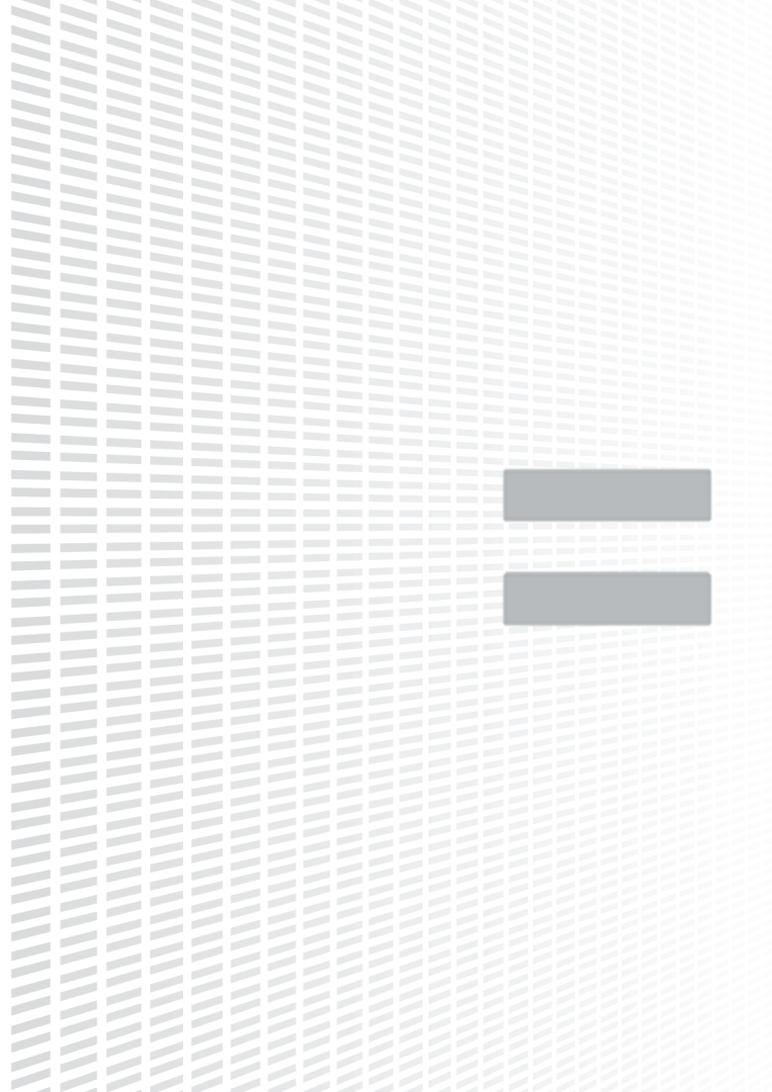
- ・ 仮想マシンの OS については、Windows Server としてお見積りしております。
- ・ OS を Windows Server とした場合、OS ディスク領域の既定値が127GBとなるため要件としていただいております32GBを127GBと読み替えてお見積りしております。
- ・ ディスクについては Standard Managed HDD にてお見積りしております。



相談センター

Microsoft Azure 導入・販売ご検討時には
Azure相談センターをご活用ください！

- ✓ 月額利用料の試算
- ✓ 3rd Party ソフトウェア ライセンスのご紹介
- ✓ アドオンソリューションのご提案



SB C&S